

平成24年度 事業報告書

社会福祉法人 芙蓉会

法人本部

事業概要報告

法人理念「自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」の下、当法人は 109 年の歴史と共に地域に愛され、民間社会福祉としての活動と役割を果たすべく、社会福祉支援を要する人々への相談・援助・支援、地域福祉活動、社会貢献等々に重点をおきながら事業を推進いたしました。



平成 24 年度は、法人として富士市及びこの地域の中で何が必要とされ何を還元できるのか、また、国が社会福祉法人に何を望んでいるのかの中で児童・高齢者と限定するのではなく其々が共存し得る「複合型施設」が必要ではないかと考え、本事業を進めるべく建設用地を取得いたしました。

本事業は、介護保険施設に主たる役目があると考え、最終的には児童と高齢者の複合施設と考えております。なお、第一次事業計画（H24～H26）から第三次事業計画まで複数年に渡ります。

基本目標

地域における福祉の発展・充実を担う中核的な組織として、公共的・公益的な事業を県及び関係機関・団体等と連携・協働して推進します。

健全な法人運営や施設経営管理の適正化ならびに職員の処遇向上と人材育成、利用者サービスの質の維持向上に努め地域住民の皆様に対する理解と信頼性を高めて参りました。



理事会



評議員会

1 理事会・評議員会の開催

(1) 理事会

開催年月日	出席者数		議 題
	理事	監事	
H24. 5.25	9	1	1.平成 23 年度事業報告について 2.平成 23 年度会計報告について 3.平成 23 年度監事監査報告について 4.乳児院人件費積立預金について 5.不動産買付について 報告事項 1.土地賃借契約
H24. 6.15	7	2	1.複合施設の創設（案）について 2.社会的養護入所者環境改善事業（案）について 3.福祉施設機器整備事業（案）について
H24. 9.15	8	1	1.複合施設の創設（案）について 2.社会的養護入所者環境改善事業（案）について 3.乳児院の新規設備投資（案）について
H24.10.26	8	2	1.平成 24 年度下半期主要事業執行状況報告について 2.平成 24 年度資金収支補正予算（案）について 3.旅費規程細則一部改正（案）について 4.建設用地取得（案）について 5.欠員による評議員の選任（案）について
H24.11.16	8	2	1.建設用地取得（案）について 2.欠員による評議員の選任（案）について
H25. 1.30	8	2	1.建設用地取得（案）について
H25. 3.27	10	2	1.平成 24 年度指導監査実施結果報告について 2.給与規程細則一部改正（案）について 3.経理規程改正（案）について 4.平成 24 年度追加事業計画（案）について 5.平成 24 年度資金収支補正予算について 6.平成 25 年度事業計画について 7.地域密着型小規模多機能居宅介護施設複合型サービス開設（案）について 8.平成 25 年度資金収支予算について 9.理事会（H23.4.18 開催）第 3 号議案の廃案について 10.任期満了（H23.4.18 付）に伴う評議員 10 名の承認について 11.定款変更届出（基本財産追加）について 12.施設長の人事案件について 13.任期満了に伴う評議員の改選について

			報告事項 1. 不動産取得について 2. 理事長専決事項（人事、法人収入、支出）について 3. 植松茂子奨学基金（奨学基金選考結果）について 4. 休暇制度細則 季節休暇について
--	--	--	---

(2) 評議員会

開催年月日	出席者数		議 題
	評議員	監事	
H24. 5.25	15	1	1.平成 23 年度事業報告について 2.平成 23 年度会計報告について 3.平成 23 年度監事監査報告について 4.乳児院人件費積立預金について 5.不動産買付について 報告事項 1.土地賃貸契約
H24.10.26	17	2	1.平成 24 年度下半期主要事業執行状況報告について 2.平成 24 年度資金収支補正予算（案）について 3.旅費規程細則一部改正（案）について 報告事項 1.複合施設の創設について 2.社会的養護入所者環境改善事業について 3.乳児院の追加事業（感染症予防対策強化）について
H25. 3.27	10	2	1.平成 24 年度指導監査実施結果報告について 2.給与規程細則一部改正（案）について 3.経理規程改正（案）について 4.平成 24 年度追加事業計画（案）について 5.平成 24 年度資金収支補正予算について 6.平成 25 年度事業計画について 7.地域密着型小規模多機能居宅介護施設複合型サービス開設（案）について 8.平成 25 年度資金収支予算について 9.定款変更届出（基本財産追加）について 10.任期満了に伴う役員の改選について 報告事項 1.不動産取得について 2.理事長専決事項（人事、法人収入、支出）について 3.植松茂子奨学基金（奨学基金選考結果）について 4.休暇制度細則 季節休暇について

2 監事監査の実施

開催年月日	担当監事	項目
H24. 5. 9	勝又長見	H23 年度業務執行状況
	鈴木英之	H23 年度財産状況



監査実施



結果講評

3 役員研修会の参加

開催年月日	研修場所	内容	参加者
H24.4.20	グランシップ	監事監査研修	監事 1 名
H24.9.19	グランシップ	新会計基準経理研修会 1. 社会福祉法人新会計基準に係る会計実務について	評議員 2 名
H24.9.26	グランシップ	新会計基準経理研修会 1. 社会福祉法人新会計基準への移行実務について	評議員 2 名

4 法人行事

開催年月日	行 事 名	場 所
H24. 4. 2	辞令交付式	みぎわ園「地域交流室」
H24. 4.13	新任職員研修会	みぎわ園「地域交流室」
H24. 6. 8	創立記念式典	みぎわ園「地域交流室」
H24. 6.11	美化運動（春）	芙蓉会敷地内
H24. 8.01	美化運動（夏）	芙蓉会敷地内
H24. 8.18	夏祭り	芙蓉会グラウンド
H24.10. 9	美化運動（秋）	芙蓉会敷地内
H24.10.21	市民福祉祭り	富士市中央公園
H24.10.22	普通救命講習会（第1回）	みぎわ園「地域交流室」
H24.11.07	普通救命講習会（第2回）	みぎわ園「地域交流室」
H24.11.20	普通救命講習会（第3回）	みぎわ園「地域交流室」
H24.12.25	クリスマス会	ホワイトパレス
H25. 1. 4	新年挨拶会	みぎわ園「地域交流室」



辞令交付式



新任職員研修



創立 109 周年記念式典



夏祭り



市民福祉祭り



普通救命講習会



クリスマス会



新年挨拶会

5 機関誌発行



第 36 号 H24.4.10 発行



第 37 号 H24.7.1 発行



第 38 号 H24.10.1 発行



第 39 号 H24.12.25 発行

6 ホームページ更新 61回

主な公開

- ・ H24 年度法人行事、寄附行為等
- ・ H23 年度事業報告、決算書
- ・ H24 年度広報誌掲載
- ・ H24 年度職員募集掲載
- ・ H25 年度職員採用情報
- ・ H24 年苦情受付情報
- ・ H25 年理事長新年挨拶
- ・ H25 年度事業計画、予算書



7 施設職員状況

(1) 採用・退職

施設名	採用者		退職者	
	正規	非常勤	正規	非常勤
ひまわり園	3名	1名	5名	0名
みどり園	1名	4名	8名	4名
みぎわ園	12名	4名	7名	3名
計	16名	9名	20名	7名

8 苦情対応

苦情：2件

日付	申出者	内容	対応
H24.6.22	近隣	西側下の樹木落葉が側溝につき、雨水が溢れて困る。また、下草の手入れもお願いしたい。	H24.7.2 業者に依頼し、樹木の強剪定を実施
H25.3.25	東海財務局 静岡財務事務所 沼津出張所	近隣住民からの要望（雨天時の土砂流出・樹木落葉対策）がございました。 早期対応等の検討をお願いします。	H25.3.27 西側境界擁壁工事の理事会承認を得る

児童養護施設 ひまわり園

事業概要報告（資料 1、2、3）

平成 24 年度は、児童定員 90 名に対して 77 名（男子 44 名、女子 33 名）でスタートしました。年間で入所した児童は 15 名（男子 4 名、女子 11 名）、退所した児童は 9 名（男子 6 名、女子 3 名）でした。年間を通しての平均在籍数は、82.4 名（充足率 91.6%）でした。その他、一時保護延べ 8 名、ショートステイ 1 名を受け入れました。



【黒川キャンプ場 川遊び】

【入所児童内訳】

- ① みどり園からの措置変更 4 名
- ② 家庭からの入所 8 名
- ③ 他施設からの措置変更 3 名

家庭からの入所理由としては、「身体的虐待」および「ネグレクト」が 5 名、「経済的困難」が 3 名でした。他の児童養護施設から中学生女子 2 名、児童自立支援施設から 1 名が措置変更で入所しました。

【退所児童内訳】

- ① 家庭引き取り 4 名
 - ・ 幼児 2 名、小学生 1 名、公立高校進学に合わせた家庭引取 1 名
- ② 就職自立 1 名
 - ・ 高校卒業による就職自立 1 名
- ③ 措置変更 4 名
 - ・ 情緒障害児短期治療施設 1 名
 - ・ 児童自立支援施設 1 名
 - ・ 知的障害児施設 2 名

退所した児童を見ると、家庭引き取りは 4 名で昨年度（9 名）に比べ減少しましたが、他施設への措置変更が比較的多い年でした。

被虐待またはその疑いのある児童の割合は、3 月 1 日において 38.8%（85 名中 33 名）でしたが、家庭からの入所児童に限って見ると実に 68.8%（33 名中 22 名）で、7 割近くが虐待環境に置かれていたこととなります。中には日常生活における様々な問題行動や人間関係のトラブルなど対応が難しく、行政機関や医療機関への相談が欠かせないケースもありました。

I Q 75 以下の幼児、児童は 14 名（16.5%）で、そのうち 8 名が特別支援学級等に通っていました。将来にわたり社会福祉資源の利用が必要であるため、関係機関とも相談を重ねました。

静岡県児童養護施設協議会主催による夏季のソフトボール大会において小学生が優勝、中高生は第 3 位と健闘し、同時に両チーム共にフェアプレイ賞を受賞しました。冬季のサッカー大会では小学生男子は準優勝、中高生男子は優勝、中高生女子は第 3 位と優秀な成績を収めると共に小学生女子と中高生男子がフェアプレイ賞（夏季に続き連続）を受賞しました。

また、秋に初めて実施された「オセロ大会」では高校生が第 3 位に入賞するなど子ども達の活躍を多方面で見ることができました。

重要事項報告（資料 2、11）

インフルエンザ A 型が幼稚園、小中学校で学級閉鎖になるほど流行し、施設における発症者を隔離しても追いつかず、1 月から 3 月にかけてインフルエンザ A 型に 25 名の児童、4 名の職員が感染してしまいました。

昨年度末に公立高校を卒業した女子 1 名が 20 歳までの措置延長を児童相談所から認められ、「植松茂子奨学基金」の援助を受けて看護専門学校に進学しました。アルバイトとの両立に努めながら勉学に励む姿が見られました。また、近年は学習ボランティアさんの協力も充実し、高校進学においては中学 3 年生 8 名の内、5 名が公立高校に合格しました（他、私立高校 1 名、特別支援学校高等部 2 名）。

基本目標 1

家族と離れて生活する子どもたちが、安心して安全に生活できる環境を保障し、権利擁護意識の向上に努めます。（資料 4、5）

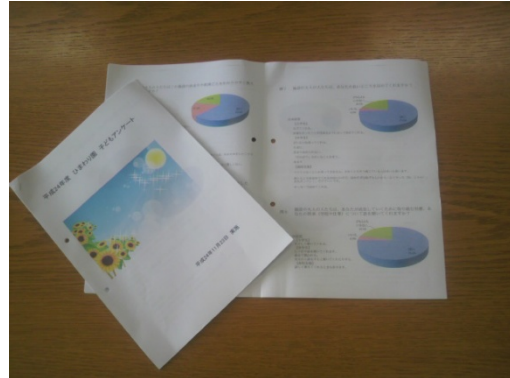
専任配置した心理職員による個別支援、児童相談所心理司の協力によるグループワーク、暴力防止プログラム「セカンドステップ」のなど心理的対応の充実を図りました。「性教育」ではグループ学習を実施し、また年代ごとの支援課題を整理するなどの取り組みを行いました。しかし、「セカンドステップ」や「性教育」は職員の勤務時間との兼ね合いで、なかなか定期的実施することが困難であるという課題も残りました。

職員の権利擁護意識の向上を目的とした取り組みでは、職員自身による毎月の「接遇チェック」による振り返りや年 1 回の「自己評価」による施設としての課題の整理などに取り組みました。しかし「接遇チェック」は提出が滞ったユニットがあるなど反省すべき点もあり、さらなる意識の向上が求められます。

入所児童への「意識アンケート」は年 2 回実施し、集計結果を子ども達にも公表して、各職員の意識向上を図りました。「福祉サービス第三者評価」に関しては評価機関の準備も不十分だったこともあり 25 年度に延期しました。



【セカンドステップ】



【子どもの生活意識アンケート】

基本目標 2

生活を営む主役である子どもたちが、日常生活において主体的に考え取り組むことができるように支援します。(資料 6、7)

子ども達の意見表明、生活への主体的な関わりを促進する機会として児童会「ひまわりの種」を開催し、小学生・中高生それぞれの代表者が、より暮らしやすい生活に向けて、意見や要望あるいは生活上の問題点について話し合いました。

また「苦情・要望の情報公開」では広報誌での公開は例年実施していますが、施設内における子どもたちへの掲示による公開はできず、25年度には改善できるよう努めます。

基本目標 3

子どもたちの地域社会活動を支援し、集団の中での個の自立と技能向上を目指します。また地域との関わりを持ち、地域住民としての自覚が育つように支援します。(資料 8)

「ボーイスカウト活動」では職員の協力も増え、地域のリーダーと職員との連携の中、奉仕活動や野外活動に積極的に参加しました。「サッカー少年団」も富士市のリーグ戦に参加するなど継続的な活動を行うことができました。サッカーでは、中学生男子 2 名が東部トレセンに選ばれ、また、高校生男子は富士市選抜として韓国遠征に参加するなど、それぞれの年代でも活躍が見られました。

吉原小学校区の子ども会活動では、フリーマーケット、お楽しみ会などに子ども達が積極的に参加し、子ども会ドッジボール大会では、高学年男子が吉原小学校校内大会で優勝し、富士市中部ブロック大会でも 3 位、更に市子連中央大会で 4 位入賞という活躍を見せてくれました。

施設の地域活用としてサッカーの指導者会議の会場として学習室を開放しました。



【ボーイスカウト隊集会】



【サッカーの練習風景】



【子ども会ドッジボール大会】



【子ども会お楽しみ会】

基本目標 4

社会的自立を目標とする子どもたちの自立支援を実施します。

静岡県から委託された NPO 団体（メディアベース）の協力を得て、高校生を対象としたリービングケアと就職を控えた高校生への個別支援を実施しました。またボランティアによる学習指導や文化的活動（ピアノ、ギター、生け花、茶道）も年間を通して継続的に支援を受けることができました。

公立高校を卒業した女子が「植松茂子奨学基金」を利用して看護専門学校に進学しましたが、1年間勉学に励むことができました。

施設を退園した児童に対するアフターケアとしては、情報収集と記録の整理に努めると共に訪問、電話連絡、病院への通院や入退院手続きなどの具体的支援を行いました。他施設へ措置変更された児童に対しても運動会の応援や卒業式への出席などの心の繋がりを大切にしたり関わりを行いました。また、特別支援学校高等部を卒業した女子に施設内の部屋を貸与し生活支援を行いました。

「生い立ちの整理」「アフターケアのマニュアル化」は残念ながら十分な検討ができず、25年度への継続的な課題として残りました。



【メディアベース リービングケア】



【ピアノ 発表会】

基本目標 5

家族再統合のための保護者との関係強化および行政機関、里親、学校等との社会的養護の連携に努めます。(資料 9、10)

24年度の家族との面会は120回(85名中52名)ありました。33名の児童は残念ながら家族との関わりを持つことができませんでした。子ども達の置かれている状況の厳しさを実感せざるを得ませんでした。

一時帰省は夏季・冬季共に38名でした。また、前述したように家庭引き取りが実現した児童は4名でした。家庭引き取りに向けた外泊訓練を3件行いましたが、そのうち家庭引き取りが実現したのは1件でした。子どもが施設入所後の家族へのアプローチが不十分であることは以前からの課題であります。保護者が社会的に自立できずして家族再統合は期待できないわけですが、施設職員、児童相談所職員はそこまで手を回す人的余裕がないのが実情です。

里親さんによるショートルファンは夏季7名、冬季8名でした。その他週末里親等を実施しました。また、富士児童相談所管内の里親団体「ふじ虹の会」との意見交換会(年2回)、新たに里親さんになることを目指す方の認定前研修として3件(6名)を受け入れ、里親月間に実施されたフォスターセッションでは施設の現状と里親との連携の重要性をお伝えするなどの連携に努めました。



【ふじ虹の会との意見交換】

学校との連携では、小中学校と年間各2回の連絡会を実施して、施設に対する理解を求め、個別ケースについても面談、ケース会議などを通じて情報や認識の共有化を図り、支援体制を築くよう努めました。

基本目標6

子どもの健康に配慮すると共に、環境の整備、防災教育を推進し、安全な生活を支援します。(資料11、12、13、14)

子どもの健康管理に関しては、総受診数は908件で昨年(817件)より上回りましたが、日本脳炎予防接種、三種混合、子宮頸がんワクチン接種などを計画的に実施しました。また食育面でも昨年同様に栄養士が季節ごとの行事食、誕生会献立、子ども達一人ひとりを尊重した誕生日リクエスト献立などの工夫を凝らし、毎月の調理実習では調理師がユニットに入り、子ども達に調理の楽しさを伝えてくれました。

日々の感染症発生予防のための消毒、発熱時の隔離対策などを感染症対策委員会が中心となって職員で取り組みました。また児童、職員全員にインフルエンザの予防接種を行いました。しかし、社会的に流行したインフルエンザA型の感染を食い止めるには至りませんでした。

事故報告は12件、ヒヤリハット報告は8件あり、中には未然に防ぐことができるものも含まれており、職員の意識を高めていくことの重要性を再認識しました。

富士市防犯協会、富士警察署、富士商工会青年部の協力を得て、「防犯教室」を実施し、地域の方々との交流を深めると共に安全や安心できる生活について考える機会を得ました。

防災教育では避難訓練を毎月実施して防災意識を高めると共に年2回の地域防災訓練に参加して地域の皆様との連携を深める取り組みも行いました。環境整備として、児童居室の転落防止柵を設置して、子ども達の生活の安全対策を施しました。



【富士防犯協会、富士警察署、富士商工会青年部による防犯教室】



【緑が丘町内の防災訓練に参加】



【卒業・旅立ちを祝う会のパーティ料理】

基本目標 7

職員の処遇技術の向上を目指した研修の充実と主体的取り組みの強化を図ります。また実習生の受入れを実施して児童養護施設の理解を広げ、後進の指導に努力します。(資料 15、16)

静岡県児童養護施設協議会主催の「指導員保母の会」(年 8 回)、「権利擁護研修会」(年 5 回)に参加し、他にも「関東ブロック職員研修会」での意見発表、静岡大学教授の下での心理士の自主研修への参加など、職員が積極的に取り組みました。また、予想される大震災に備え、2名の職員が「ふじのくに防災士研修」(6回)に参加し、「ふじのくに防災士」および「日本防災士」の資格を取得しました。

園内研修では富士児童相談所の心理士を講師に招き「コミュニケーションスキル研修」(年 5 回)を実施するなど、職員のスキルアップに努めました。また、直接処遇職員 24 名のうち勤続年数が 10 年以上の職員が 7 名(29.1%)で県内平均(23.3%)より上回り、平均勤続年数も 7.1 年となり、子ども達の情緒の安定に大きく貢献したと言えます。

学生の保育実習は年間を通じて 32 名を受け入れ、施設の理解を深めると共に後進育成に努めました。



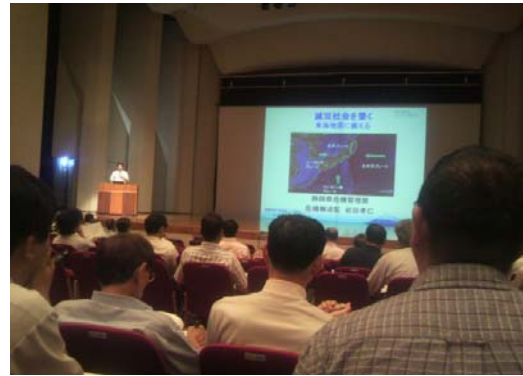
【コミュニケーションスキル研修】



【サインズ オブ セイフティ研修】



【虐待防止静岡の集い】



【ふじのくに防災士研修】

その他の行事など（資料7）



【須津川ハイキング】



【広野海岸公園】



【幼児オペレッタ 福祉まつり】



【アミューズメント協会慰問】



【富士中央ライオンズ クリスマス慰問】



【M&4D 'Sの皆さん】



【芙蓉会 新年挨拶会】



【VOXRAY 来園 たいようのたね】

施設整備

取得

業務用冷蔵庫	296,152 円
食器洗浄機	657,038 円
ガスブースター	215,985 円
温蔵庫	514,500 円

修繕工事

児童居室転落防止柵	
社会的養護入所者環境改善事業補助金	2,150,000 円

廃棄

業務用冷蔵庫



【業務用冷蔵庫】



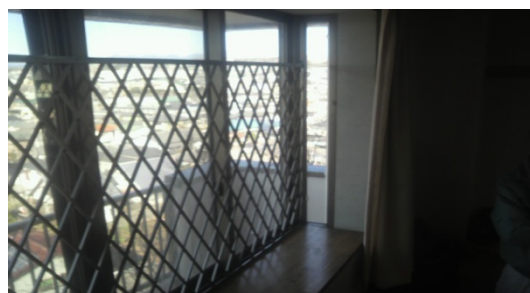
【食器洗浄機】



【ガスブースター】



【温蔵庫】



【児童居室転落防止柵】

(資料1) 入退所状況

①月別在園児童数

月 別	定員	実 人 員 (初日在籍)			充足率 %	延 人 数		
		男	女	合計		男	女	合計
平成24年 4月	90	44	33	77	85.6%	1,320	990	2,310
平成24年 5月	90	44	36	80	88.9%	1,364	1,116	2,480
平成24年 6月	90	46	36	82	91.1%	1,380	1,064	2,444
平成24年 7月	90	46	35	81	90.0%	1,426	1,071	2,497
平成24年 8月	90	46	36	82	91.1%	1,401	1,121	2,522
平成24年 9月	90	45	37	82	91.1%	1,350	1,110	2,460
平成24年 10月	90	45	37	82	91.1%	1,395	1,147	2,542
平成24年 11月	90	45	37	82	91.1%	1,350	1,110	2,460
平成24年 12月	90	47	38	85	94.4%	1,457	1,189	2,646
平成25年 1月	90	47	39	86	95.6%	1,450	1,209	2,659
平成25年 2月	90	46	39	85	94.4%	1,334	1,131	2,465
平成25年 3月	90	46	39	85	94.4%	1,413	1,221	2,634
合 計	1,080	547	442	989	91.6%	16,640	13,479	30,119

②一時保護児童数 (月別集計)

月 別	一時保護人数			
	男	女	合計人数	延べ日数
7月		1	1	13
10月		2	2	30
11月	2	2	4	12
12月		1	1	19
延 べ 日 数 合 計				74

③ショートステイ事業受入児童数

期間	男	女	日数
7/20~7/28	1		9
合 計	1	0	9

(資料2) 入所児童現況(平成25年3月1日)

①性別

男	女	合計
46	39	85
54.1%	45.9%	100.0%

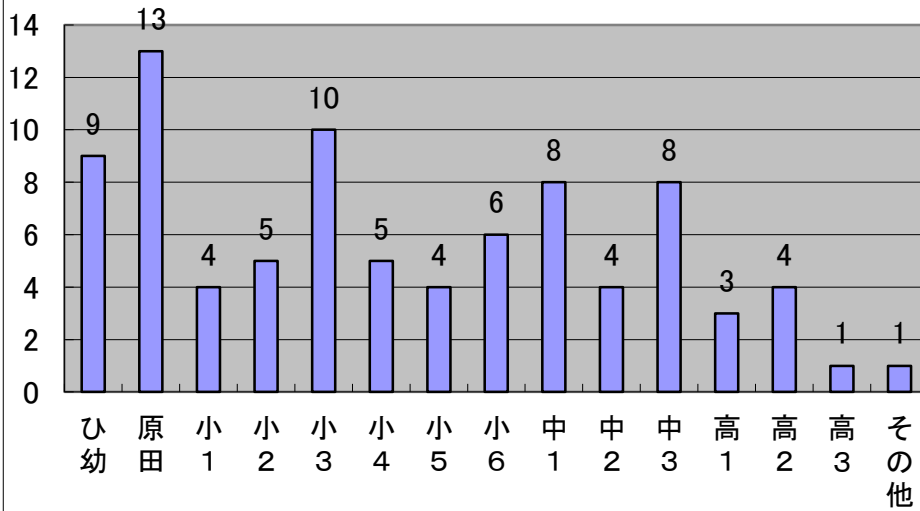
②年代別児童数

幼児	小学生	中学生	高校等	計
22	34	20	9	85
25.9%	40.0%	23.5%	10.6%	100.0%

③学年別児童内訳

ひ幼	原田	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	その他	合計
9	13	4	5	10	5	4	6	8	4	8	3	4	1	1	85
10.6%	15.3%	4.7%	5.9%	11.8%	5.9%	4.7%	7.1%	9.4%	4.7%	9.4%	3.5%	4.7%	1.2%	1.2%	100.0%

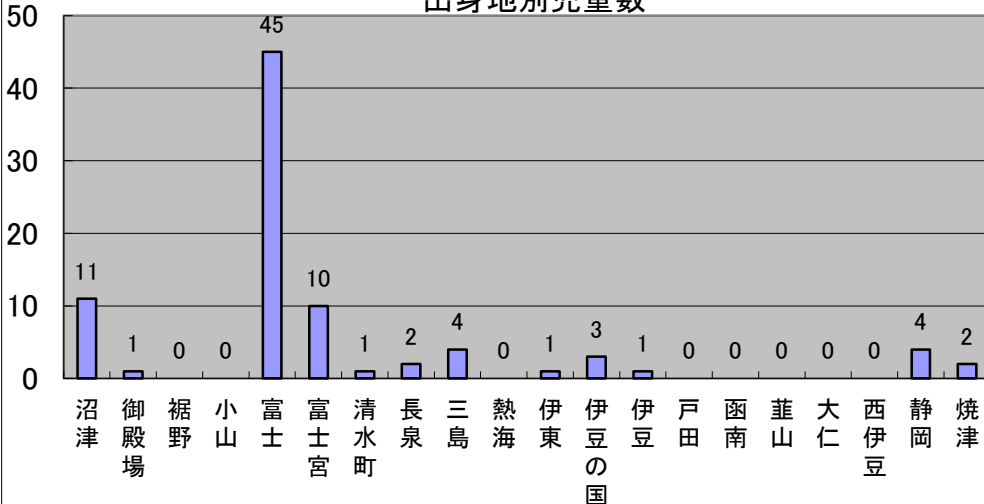
学年別児童数



④出身地別入所数

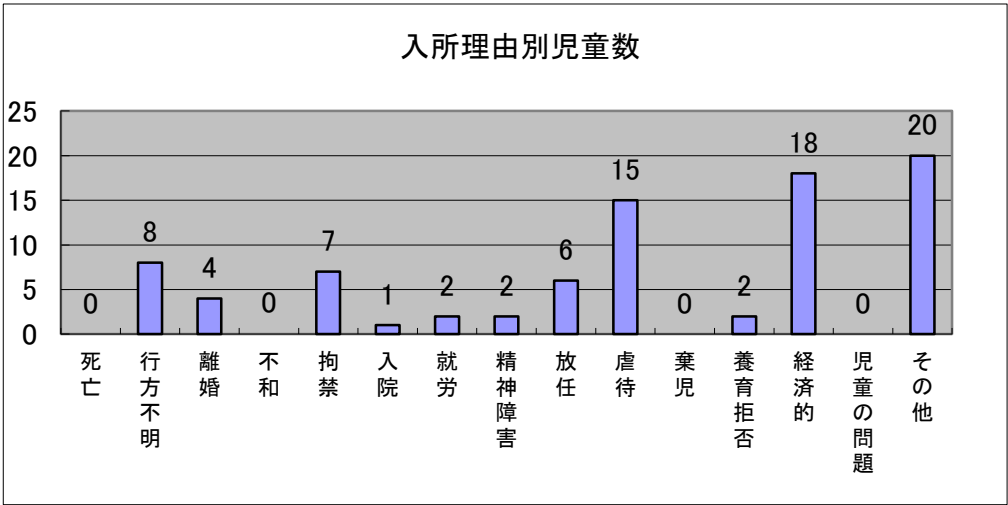
沼津	御殿場	裾野	小山	富士	富士宮	清水町	長泉	三島	熱海	伊東	伊豆の国	伊豆	戸田	函南	韮山	大仁	西伊豆	静岡	焼津	合計
11	1	0	0	45	10	1	2	4	0	1	3	1	0	0	0	0	0	4	2	85
12.9%	1.2%	0.0%	0.0%	52.9%	11.8%	1.2%	2.4%	4.7%	0.0%	1.2%	3.5%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.7%	2.4%	100.0%

出身地別児童数



⑤入所理由別児童数（主訴）

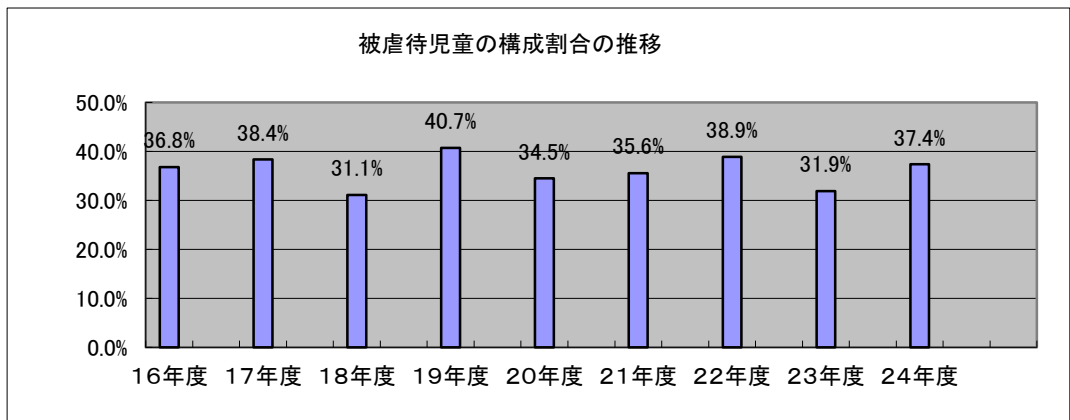
死亡	行方不明	離婚	不和	拘禁	入院	就労	精神障害	放任	虐待	棄児	養育拒否	経済的	児童の問題	その他	合計
0	8	4	0	7	1	2	2	6	15	0	2	18	0	20	85
0.0%	9.4%	4.7%	0.0%	8.2%	1.2%	2.4%	2.4%	7.1%	17.6%	0.0%	2.4%	21.2%	0.0%	23.5%	100.0%



⑥入所前に虐待またはその疑いがある児童数の推移

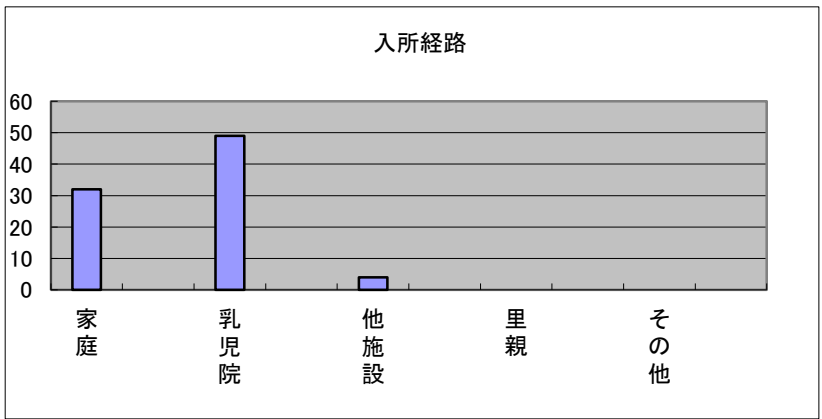
年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
被虐待児	32	33	28	35	30	32	35	29	34
入所数	87	86	90	86	87	90	90	91	91
構成割合	36.8%	38.4%	31.1%	40.7%	34.5%	35.6%	38.9%	31.9%	37.4%

(含む ひろみ)



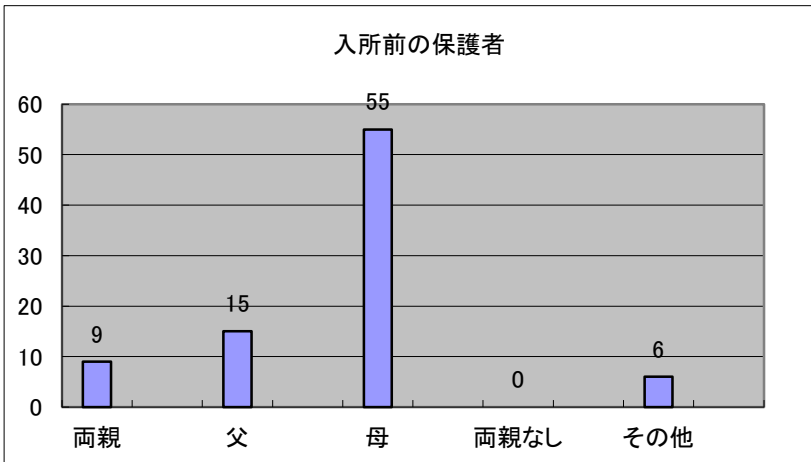
⑦入所経路

家庭	乳児院	他施設	里親	その他	合計
32	49	4	0	0	85
37.6%	57.6%	4.7%	0.0%	0.0%	100.0%



⑧入所前の保護者

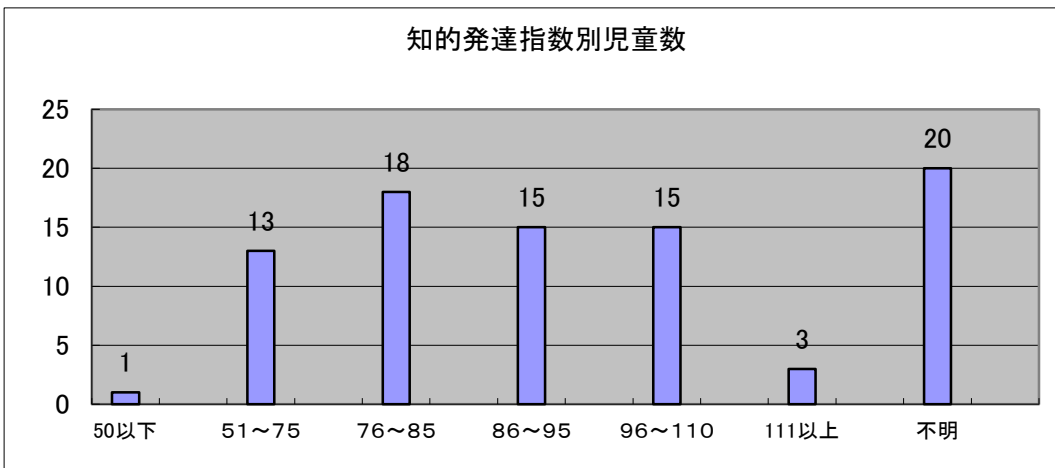
両親	父	母	両親なし	その他	合計
9	15	55	0	6	85
10.6%	17.6%	64.7%	0.0%	7.1%	100.0%



⑨知的発達指数別児童数

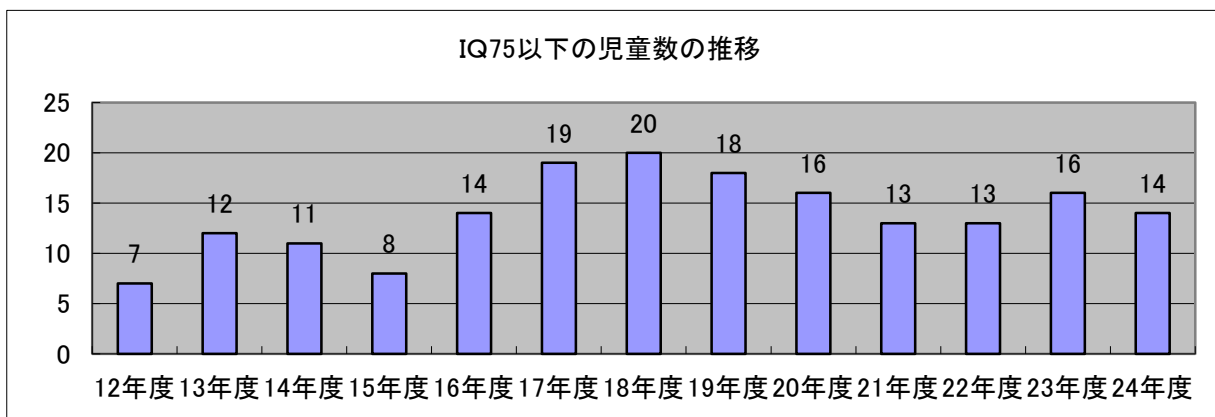
50以下	51~75	76~85	86~95	96~110	111以上	不明	総数
1	13	18	15	15	3	20	85
1.2%	15.3%	21.2%	17.6%	17.6%	3.5%	23.5%	100.0%

(含む ひろみ)



⑩過去のIQ75以下の児童数の推移

年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
人数	7	12	11	8	14	19	20	18	16	13	13	16	14



⑪平成25年4月進路状況

◇進学（高校等） 4名

内訳 静岡県立吉原高校 女子1名
 静岡県立吉原工業高校 男子4名（うち1名は家庭引取）
 私立富士見高校 女子1名
 私立御殿場西高校 女子1名
 富士特別支援学校高等部富士宮分校 2名

◇就職自立（高校等卒業） 1名

内訳 医療器具製造 男子1名

⑫児童の障害等の状況（重複回答あり）

健康	身体虚弱	肢体不自由	視聴覚障害	言語障害	知的障害	その他の障害
73	1	0	1	3	15	2

⑬児童の罹病傾向（重複回答あり）

健康	ひきつけ	下痢しやすい	熱を出しやすい	風邪引きやすい	湿疹が出やすい	その他
81	0	0	3	1	6	1

※その他の内訳

⑭児童の非社会的問題傾向（重複回答あり）

問題なし	登校拒否	孤立・内閉	夜尿・失尿	神経性症状	学業不振	その他
66	1	0	12	1	13	3

※その他の内訳

⑮児童の反社会的問題傾向（重複回答あり） ※現在なお注意を要するものを含む

問題なし	窃盗	放火	無断外出	無断泊	乱暴	金品持出	飲酒	喫煙	性的問題	その他
75	6	0	3	4	2	0	1	5	2	

⑯直接処遇職員の勤務年数（ひまわり園14名 ひろみ3名）

	1年未満	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年以上	計
男性	0	1	0	4	2	1	8
女性	3	2	2	7	3	2	19
計	3	3	2	11	5	3	27
割合	11.1%	11.1%	7.4%	40.7%	18.5%	11.1%	100.0%

(資料3) 行事の実施状況

①静岡県児童養護施設協議会行事

期日	実施行事	結 果
5月14日	第29回静岡県児童福祉施設絵画展表彰式	銅賞3名 特別奨励賞3名
8月23日	第41回静岡県児童福祉施設夏季球技大会	小学生男子 優勝・フェアプレイ賞
		中高生男子 第3位・フェアプレー賞
11月23日	静岡県児童福祉施設秋季文化交流オセロ大会	中高生の部 第3位・敢闘賞(中高生2名)
		小学生の部 予選敗退(女子2名)
1月20日	第35回静岡県児童福祉施設冬季球技大会	小学生男子 準優勝
		小学生女子 予選敗退・フェアプレイ賞
		中高生男子 優勝・フェアプレイ賞
		中高生女子 第3位

②園内行事

	期日	実施行事	部屋名	参加児童	引率職員
1	4月14日	常田富士男の民話劇場(ロゼシアター)	希望者	10	3
2	4月30日	川遊び(黒川キャンプ場)	さくら	11	4
3	5月3日	バーベキュー(須津川)	大地	15	5
4	5月3日	映画(イオン富士宮店)	かえで	12	4
5	5月5日	バーベキュー(丸火自然公園)	りんどう	13	4
6	5月6日	映画(イオン富士宮店)	さくら	8	2
7	5月11日	もちや遊園地	ひまわり幼稚園	5	3
8	5月13日	映画(イオン富士宮店)	銀河	16	1
9	6月9日	Jリーグ観戦(日本平スタジアム)	希望者	4	1
10	7月21日	川遊び(陣馬の滝 杵塚養鱒場)	りんどう	13	4
11	7月24日	富士登山	希望者	16	8
12	7月24日	高校野球観戦(愛鷹球場)	希望者	2	1
13	7月26日	マリンプール	さくら	9	3
14	7月26日	広野海岸公園	かえで	13	4
15	7月31日	キャンプ(黒川キャンプ場)~8/2	さくら	12	4
16	8月3日	キャンプ(黒川キャンプ場)~8/4	大地	15	5
17	8月4日	川遊び(須津川)	けやき	12	4
18	8月6日	マリンプール	けやき	11	3
19	8月10日	海水浴(島郷海水浴場)	希望者	57	18
20	8月24日	マリンプール	りんどう・けやき・大地	36	10
21	8月24日	映画(イオン富士宮店)	銀河	9	1
22	8月27日	マリンプール	さくら・かえで	22	5
23	8月27日	マリンプール	銀河	9	1
24	9月6日	川遊び(田宿川)	ひまわり幼稚園	9	2
25	10月14日	技能フェスティバル(ふじさんめっせ)	希望者	22	5
26	11月3日	ハイキング(須津川)	希望者	23	8
27	11月4日	沼津港深海魚水族館	銀河	5	1
28	11月18日	サイクルスポーツセンター	さくら	5	1
29	11月18日	富士急ハイランド	けやき	13	4

	期日	実施行事	部屋名	参加児童	引率職員
30	11月24日	カップ座公演 (ロゼシアター)	希望者	17	3
31	12月23日	映画 (イオン富士宮店)	大地	4	1
32	1月6日	バッティングセンター (たかだ)	銀河	2	1
33	1月14日	卓球 (富士宮市 市民体育館)	希望者	2	1
34	1月27日	富士急ハイランド	りんどう	13	4
35	1月27日	カラオケ (シダックス)	りんどう	13	4
36	2月3日	雪遊び (富士山こどもの国)	希望者	28	8
37	2月10日	温水プール (マリンスパあたま)	大地	9	2
38	2月24日	静岡市散策	大地	6	1
39	3月2日	富士急ハイランド	りんどう	13	4
40	3月3日	富士サファリパーク	さくら	7	3
41	3月9日	映画鑑賞 (イオン富士宮店)	けやき	11	3
42	3月16日	かつぱ寿司	大地	16	5
43	3月16日	いちご狩り (富士宮市いちごやさん)	かえで	15	4
44	3月17日	ボーリング (江戸屋ボウル)	銀河	15	4
45	3月21日	ボーリング (ラウンドワン)	さくら	8	2
46	3月23日	スシロー	りんどう	13	5
47	3月27日	映画鑑賞 (イオン富士宮店)	りんどう	3	1



【富士登山 7/24】



【広野海岸公園 7/26】



【芙蓉会夏祭り 8/18】



【いちご狩り 3/16】

(資料4) 児童処遇について

①性教育学習会実施状況

学年	期日	テーマ	目的・内容
幼児	7月19日	身体感覚	身体を動かす楽しさを感じ、自分の身体に興味を持つ。 ダンスをしたりおやつを食べたりして、「楽しい」「美味しい」といった感覚を意識して感じてもらう。身体があることでそういった感覚を感じられることを教え、自分の身体を大切にしたいというメッセージを伝える。
中高女子	7月29日	二次性徴	思春期を迎えている子どもたちに、自分に起きている大きな変化を科学的な視点から学んでもらう。 指導者と思春期の悩みについて話し合い、不安の軽減を図る。
小学校低学年	7月30日	プライベートゾーン	プライベートゾーンを教える。 絵本『いいタッチわるいタッチ』を読み聞かせ、いいタッチとわるいタッチを考える。 わるいタッチをしてはならないこと。わるいタッチをされそうになったら、相手に「やめて!」と言い、その場から逃げ、危険な目にあったことを大人に話すように伝えた。
小学校中学年	8月19日	男女の身体の違い プライベートゾーン	男女の身体の違いを伝える。そして、「違い」を尊重することが大切であることを教える。 プライベートゾーンの確認をする。
高校生男子	8月20日	自己コントロール	力が強い者は、その力に見合うだけの責任を持たなければならないことを理解する。 「性欲とは何か」「マスターベーション」「誇りを持って自己コントロール」という3つの話題について、指導者と高校生が話し合った。
小学校高学年	8月28日	友達①	「友達」とはどういうものなのか。友達関係を作るには、どうしたらいいのかを考える。 同調してくれる子や自分にとって都合がいい子が友達ではないということを理解する。
中学生男子	9月17日	友達	施設で育った子どもたちが、対等で永続的な人間関係を築くことが苦手な傾向があることを踏まえ、自分の人生をより良いものにしてもらえるような人間関係を築けるようになって欲しいという願いのもとに学習会を実施した。 友達関係について、「平行」と「平等」というキーワードを使って、子どもたちと指導者が話し合った。 ひまわり園を卒園した子どもたちが社会に出てから見舞われた様々なトラブルについて、プライバシーに配慮しながら紹介し、社会に出たとき、周りにいる人間が如何に大切かを伝えた。
幼児	3月13日	プライベートゾーン	自分の身体に興味を持たせる。その上でプライベートゾーンを学んだ。自分も大切であり、同じように相手も大切だということを理解し、プライベートゾーンに踏み込んだり、踏み込まれたりしてはいけないことを伝えた。

小学校低学年	3月21日	生命の誕生	自分がどのように生まれてきたのかを知り、かけがえのない存在であることを自覚する。 絵本を通じて、生命が誕生するまでの仕組みを学ぶ。
中学生男子	3月26日	死生観	現代社会、特に施設生活では人の死に接する機会が少ない。「老病死」は誰にでも訪れる。にもかかわらず、それを忘れて（忘れたふりをして）生活していると、自他を問わず、命の価値を自覚しながら生きることが出来なくなる。子どもが育つ場にこそ、「死を感じるもの」が必要だが、実生活の中ではそれを感じる機会がないため、学習会を開いた。 自分も他者も必ず死ぬということを受け容れて、それでも生きる意味はなんなのか、必ず終わりがくる人生において、それでも大切なものがあるのか、子どもたちと指導者が一緒に考えた。
高校生男子	3月27日	薬物	社会に出る子どもたちが抱えている現実的なリスクとして、薬物汚染の問題がある。薬物汚染は、近親者間で広がる傾向がある。子どもたちの親族の中には、覚醒剤使用での逮捕歴がある人物などもいるため、より現実的に薬物の怖さを教える必要があると考え、学習会を開いた。 書籍や視聴覚資料に加え、指導者が実務の中で感じている薬物の本質的な怖さについて、子どもたちに伝え、考えてもらった。
小学校高学年	3月30日	友達②	前回、この年代の子どもたちに、同テーマで学習会を開いた。その学習会を振り返りつつ、その後の友達関係はどうか確認した。また、対象にした子どもたちの人との関わり方について、指導者から見て気になっている点をあげ、何が問題なのかを考えていった。
中高女子	4月4日	人生設計	中高生たちに、学生である今を大切にしてもらうため、将来のことを指導者と一緒に考えることにした。自分たちが今後歩むであろう進路は、どのようなものがあるのか。そういった進路を進むためには、どういったコストが必要なのか。今すべき事は何なのか。等々、具体的に考えていった。
小学校中学年	4月28日	命の繋がり	子どもたちに、「今、自分がここにいる」ということがどれだけ奇跡的なことなのかを知ってもらい、自分の価値を自覚してもらうことを目的とした。命が連綿と受け継がれてきたこと、その一つ一つが奇跡であること、そういった事実を伝え、子どもたちに自らの価値を見つめてもらった。

(資料5) 心理対応

①個別対応児童

ひまわり園在園中の児童4名を対象に、個別面接を実施。

K. W (小学2年生男児)

M. H (小学5年生女児)

M. M (小学4年生女児)

M. H (小学3年生女児)

担当職員と面接実施の目的を相談の上、対象児童を決定した(内1名は児童相談所からの勧めで3月からの実施)。隔週で40分～45分の時間をとった。

平成25年度も対象児童4名は引き続き実施予定。

(面接日)

	K. W (小2男児)	M. M (小4女児)	M. H (小5女児)	M. H (小3女児)
1回目	H24.7.18	H24.7.23	H24.7.28	H25.3.3
2回目	H24.8.1	H24.8.3	H24.8.3	H25.3.17
3回目	H24.8.28	H24.8.17	H24.8.17	H25.3.31
4回目	H24.9.5	H24.9.7	H24.9.15	
5回目	H24.9.19	H24.9.22	H24.9.22	
6回目	H24.10.3	H24.10.5	H24.10.13	
7回目	H24.10.17	H24.10.19	H24.10.27	
8回目	H24.11.7	H24.11.2	H24.11.11	
9回目	H24.11.21	H24.11.17	H24.11.25	
10回目	H24.12.7	H24.12.8	H24.12.8	
11回目	H24.12.19	H24.12.23	H24.12.22	
12回目	H25.1.9	H25.1.13	H25.1.13	
13回目	H25.1.23	H25.1.25	H25.1.26	
14回目	H25.2.6	H25.2.8	H25.2.9	
15回目	H25.2.19	H25.2.15	H25.2.23	
16回目	H25.3.6	H25.3.15	H25.3.10	
17回目	H25.3.19	H25.3.29	H25.3.23	

②グループワーク実施報告

・児童相談所の「平成 24 年度被虐待児心理ケア事業」に基づき、グループ治療を実施した。

対象：年長児童 5 名（男の子グループ 3 名・・・D. S、 R. H、 Y. I）

（女の子グループ 2 名・・・M. H、 M. S）

目的：施設入所児童に対して心理治療を実施するとともに、直接処遇に関わる施設職員に対して技術援助を行うことによって、施設生活の質の向上を図る。

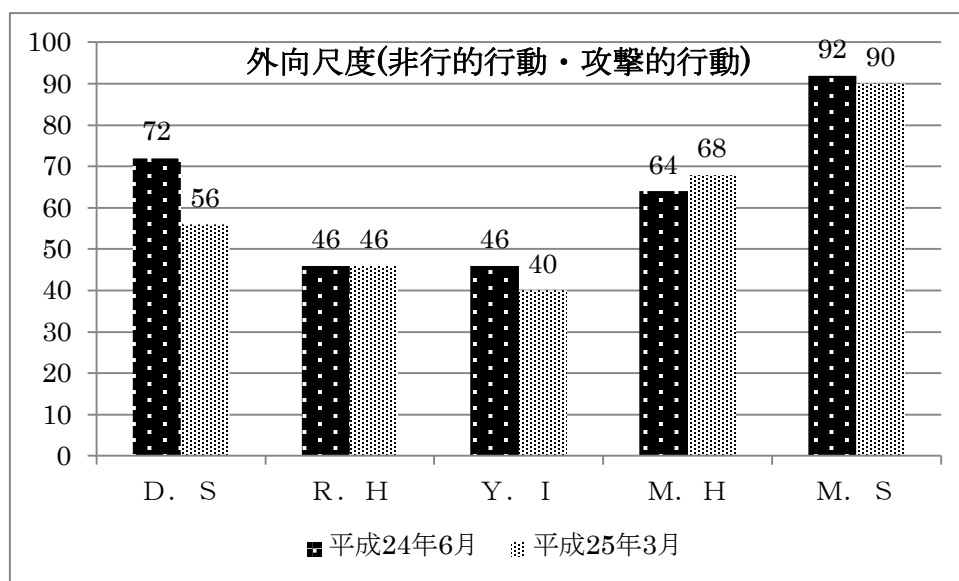
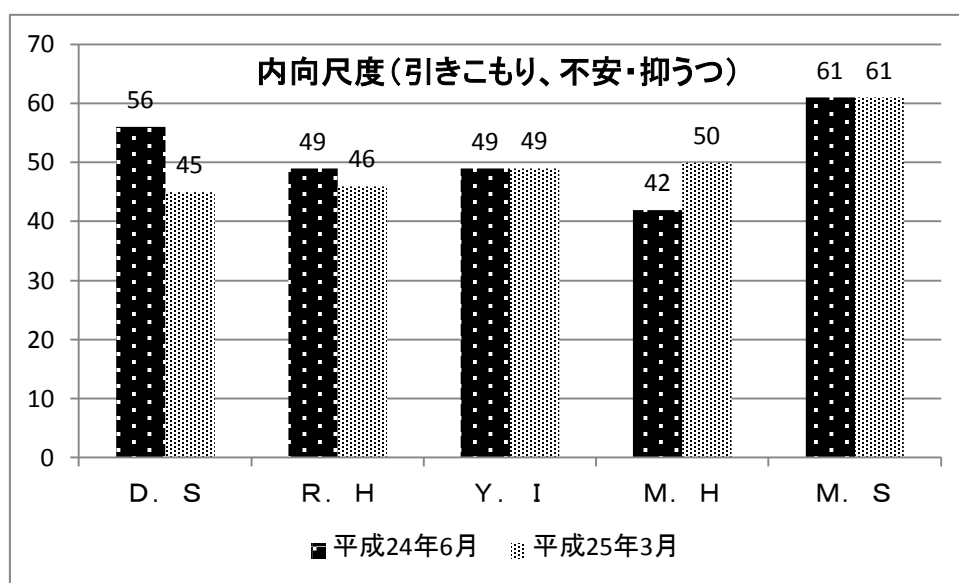
内容：安心感・安全感を味わうこと、感情の分化を目的とした活動（大人と触れ合う感覚統合遊び、気持ちの視覚化）の実施。児童相談所心理司とひまわり園の職員が参加。

日付	実施内容		参加職員
	男の子(3名)	女の子(2名)	
6月26日	—	ふれあい遊び	保育士1名
7月3日	ふれあい遊び	—	児相心理司1名 保育士1名
7月10日	—	『嬉しい』気持ちのアルバム	児相心理司2名
7月17日	『嬉しい』気持ちのアルバム	—	保育士2名
8月	『悔しい』気持ちのアルバム		—
9月	アルバムとカギに絵を描く		—
	『驚く』気持ちアルバム		—
	ふれあい遊び	—	—
9月7日	—	ふれあい遊び	児相心理司1名
10月	『悲しい』気持ちアルバム		—
10月23日	ふれあい遊び	—	保育士2名
10月30日	—	ふれあい遊び	児相心理司1名
11月6日	『嫌』な気持ちのアルバム	—	保育士2名
11月13日	—	『嫌』な気持ちのアルバム	保育士1名
11月20日	ふれあい遊び	—	保育士1名
11月27日	—	ふれあい遊び	児相心理司1名
12月4日	『怒る』気持ちアルバム	—	児相心理司1名 保育士1名
12月11日	—	『怒る』気持ちアルバム	保育士1名
1月22日	『怖い』気持ちアルバム	—	児相心理司1名 保育士1名
2月5日	—	『怖い』気持ちアルバム	保育士1名
2月12日	—	ふれあい遊び	児相心理司1名
3月11日	ふれあい遊び	—	保育士2名
3月15日	—	アルバムと賞状の授与	—
3月26日	アルバムと賞状の授与	—	—

対象児童の心理検査・行動チェックリスト結果

氏名	性別	年齢	心理検査結果
D. S	男児	6歳	田中ビネー知能検査 IQ83 (H20.11.5実施 CA2:5)
R. H	男児	5歳	—
Y. I	男児	6歳	WISC-III 全IQ62 VIQ62 PIQ69 (H24.7.2実施 CA5:11)
M. H	女児	6歳	WISC-III 全IQ90 VIQ92 PIQ90 (H24.4.10実施 CA5:6)
M. S	女児	6歳	WISC-III 全IQ79 VIQ81 PIQ82 (H25.1.11実施 CA6:4)

対象児の担当保育士に、子どもの行動チェックリストを記入してもらった（平成24年6月、平成25年3月の2回）。それぞれの、内向尺度（引きこもり、不安・抑うつ）と外向尺度（非行行動、攻撃的行動）を出しました（偏差値と同じで、標準を50とした場合の得点）。



③セカンドステップ 実施報告

対象児童・・・ひまわり園に在園中の小学3年生、4年生の児童17名。

Aグループ（3年生4名、4年生1名、計5名。内1名は平成24年の夏に家庭引き取りとなった為、途中からは計4名での実施）

Bグループ（3年生1名、4年生3名、計4名）

Cグループ（3年生5名）

Dグループ（3年生1名、4年生2名、計3名。3名とも小学校の特別支援学級に在籍。1名は平成24年度末に措置変更）

内容		グループ	A	B	C	D
第1章 相互の理解	約束（ルール）作り		H24.6.10	H24.6.2	H24.5.26	H24.7.14
	気持ちⅠ		H24.7.7	H24.6.24	H24.7.16	H24.9.21
	気持ちⅡ		H24.7.16	H24.7.2	H24.7.28	H24.10.13
	同じ気持ち・違う気持ち		H24.7.29	H24.7.22	H24.8.25	H24.11.2
	気持ちは変わる		H24.8.25	H24.8.5	H24.9.20	H25.11.22
	もし・・・したら		H24.9.8	H24.8.17	H24.10.13	H24.12.7
	今は・・・でも後でなら		H24.10.12	H24.9.9	H24.10.20	H24.12.22
	「うっかり」と「わざと」		H24.10.27	H24.9.22	H24.11.13	H25.2.15
	フェアとは		H24.11.17	H24.10.5	H24.12.15	H25.3.3
	自分の気持ちを伝える		H24.11.25	H24.10.26	H25.3.2	H25.3.16
	よく聴く		H24.12.27	H24.11.25	H25.3.21	H25.3.29
	友達を思いやる		H25.2.11	H24.12.26	H25.3.27	
第2章 問題の解決	落ち着いてゆっくり考える		H25.2.17	H25.2.8		
	どんなことが起きているか		H25.3.1	H25.3.10		
	なにができるか		H25.3.10	H25.3.20		
	どれをするか決める		H25.3.30			
	結果はどうだったか					
	一緒に使う					
	順番にする					
	交換する					
第3章 怒りの扱い	集中する					
	行儀よく話しかける					
	怒りを自覚する					
	落ち着く					
	ケガをしたとき					
	悪口を言われたとき					
横取りされたとき						
ほしいものがもらえないとき						



【セカンドステップの様子】

(資料6) ひまわり種

①小学生の部

期日	テーマ (議題)	内容
5月5日 (土)	第1回 「メンバー確認」	●銀河以外の5部屋から1名以上のメンバーが揃う。 ・各部屋から計12名のメンバー。4年生3名、5年生4名、6年生5名の構成。 尚、5、6年生は全員が種の会メンバーとなる。
	「種の会活動について」	●今年度の取り組み及び、種の会メンバーとしての意識 (概ね担当職員から話をする)。 ・生活上の“希望”を叶える為だけではなく、“問題点”を改善する為の話し合いを展開したい。 ・6年生の多くは、昨年度も種の会メンバーとして活動した。今年はより責任感を持って活動して欲しい。 ・他の子も、種の会=小学生の代表という意識を持ってもらいたい。
5月18日 (金)	第2回 「役割分担」	●主要役割の決定。 ・種長 (6年女児)・副種長 (6年男児と5年女児)・書記 (5年女児)
	「今年度、話し合いたい議題」	●話し合いたい議題を考える。 ・子ども達の意見 ①交通安全への取り組み ②朝の礼拝遅刻者0を目指す ③外出届けを当日に提出したい ④昼食を挟んだ外出をしたい ⑤鯛家旅館に宿泊したい ⑥一時帰省で、園にお小遣いを持ち帰りたい ⑦一時帰省で、園に玩具を持ち帰りたい ⑧植物の栽培 ⑨自転車に乗りしたい ⑩携帯電話を所持したい ・担当職員より ①⑧は昨年度からの継続事項。今後も活動の基盤としたい。 ③も昨年度から話し合いが継続中。 ⑩実質小学生の所持は困難だが、高校生がどの様にして所持しているのかを説明する。
	「野菜の栽培」	●⑧について、具体的に進める。 ・「植物を育てる」から具体的に今年度も「野菜を栽培する」事で決定。 ・栽培計画を立てる。①畑を耕す ②畑を広げる ③必要な物 (苗、土) を購入 ④実際に植える→①②を5月19日③④を5月20日に実施する予定。
5月19日 (土)	第3回 「野菜の栽培」	●耕作作業 ・約半年、放置された畑を耕作。①土の掘り返し・石の除去。②新たに畑を広げる (横幅+1m) ③新たに栽培用の土壌、肥料、石灰を混ぜ込む。 →約3時間はかかる。 ・前日の種の会では、メンバー全員が作業を行う事で合意した。だが、作業には男子メンバーの多くが不参加となる。 →「友達が遊びに来たから」等の理由。
5月20日 (日)	第4回 「野菜の栽培」	●苗購入及び、植え付け作業 ・男子メンバーはサッカー大会があり、園芸店には女子メンバーが行く。 ・①キュウリ ②ナス ③トウモロコシ ④シシトウ ⑤ミニトマト ⑥枝豆 の苗を女子メンバーが植える。
6月1日 (金)	第5回 「野菜の栽培」	●水やり当番決め及び、その継続方法 ・曜日毎に水やり当番を決める (2名~3名でペアを組む)。 ・昨年度の反省を元に、水やり当番を忘れない為の方法を話し合う。特に、今年はメンバー内の栽培意識が低く、未だに何を植えたのか知らない子もいた。まず“栽培”している意識を持つ事。また、水やり当番表を掲示する事とする。
	「交通マナー・ルールを守って登下校しよう」	●最近の様子 ①1年生の状況が良くない (吉原公園で遊ぶ等)。 ②種の会メンバーも意識が低い (道路で長縄をして遊ぶ等) ③その他 (登校時刻7:45が守られていない子がいる等) ●種の会が実施する事 ・毎金曜日 (17時) にメンバーが集まり、その週の登下校の様子を話し合う。 ・その日の内に、自分の居室にて注意を促す。
	「朝礼拝に間に合おう」	●現状 ・朝の礼拝に遅刻する小学生が複数名いる。4月以降、遅刻する子が固定化しつつある。 ・各居室の様子を聞く→どの居室にも2、3名は遅刻が常習化している。 ●対策 (メンバー、職員が一緒になって対策を講じる) ・礼拝前に居室の子に声を掛ける、遅刻者ゼロの日が何日続いたかを掲示する、等の意見が出る。 今後、継続して話し合っていく。

6月16日(土)	第6回 「駐輪場の乱雑さを何とかしよう」 (種の会以外の職員からの意見)	<ul style="list-style-type: none"> ●「高校生や職員の自転車、小学生の遊ぶ自転車が駐輪場に乱雑に置いてあり、困る。種の会で話し合っで欲しい」というもの。 ・自転車が増えて、駐輪場が混み合っている現状。 ●対策を考えてみる【1】 ・①駐輪場裏手に駐輪する ②学習室下に駐輪 ③ひまわり幼稚園前に駐輪 →「現在の駐輪場+別に駐輪場を設ける」という案が多い。
6月16日(土)	「駐輪場の乱雑さを何とかしよう」 (続き)	<ul style="list-style-type: none"> ●現状の再確認 ・確かに自転車は多く、乗り捨てる様に置かれている状況。 ●対策を考えてみる【2】 ・①自転車で遊び終わった後、お姉さんに片付けを見て貰う ②平日は自転車で遊ばない ③夕方の水やりついでに、駐輪場を気にする ④常にメンバーが駐輪場を気にする ●対策を考えてみる【3】 ・日頃から整理して駐輪する事が目的。今の駐輪場の状態(乱雑な状態)では「綺麗に置こう」という気持ちになりにくいのではないかな? ・メンバーより「明日、集まって駐輪場の整理を行う」との意見が出る。 →翌、6月17日(日)午前中にメンバーで駐輪場の清掃、片付けを行う。
	「交通マナー・ルールを守って登下校しよう」	<ul style="list-style-type: none"> ●メンバー内話し合い内容の確認 ・毎金曜日の話し合いの内容を確認する。登校中、ビル工事現場に入り込んでいる子がいた。種の会メンバーの中にも入り込んでいた子がいた。 →“種の会”=“小学生の代表”という意識が低い事を指摘する。この意識の低さは、毎年毎年指摘している事だが…。
	「野菜の栽培」	<ul style="list-style-type: none"> ●水やりの現状確認 →早くも水やり当番を忘れていたメンバーが複数。 ●野菜の状態 →枝豆は早くも枯れる。キュウリはうどん粉病様相。他は順調。
6月30日(土)	第7回 「フリーマーケット商品値付け作業」	<ul style="list-style-type: none"> ●値付け作業 ・子ども会主催のフリーマーケットに出す商品について。値段を決め、実際に商品に値札をつける作業を行う。 ・メンバーは手慣れた様子で作業を進める。
7月1日(日)	「吉原小フリーマーケット」	<ul style="list-style-type: none"> ●フリーマーケット協力 ・種の会メンバーと担当職員でフリーマーケットに緑ヶ丘地区として参加 ・各部屋や職員の自宅から集まった品物を持ち、9時~11時半の間で売買を行う。 ・売り上げ金8580円(前年比+730円)。
7月30日(月)	第8回 「野菜の栽培」	<ul style="list-style-type: none"> ●畑の状態 ・雑草が生えて、荒れた状態。 ●対策 ・①気付いた時に雑草を抜く ②土・日に集まって草取り ③すぐに草取りに取りかかる →明日;かえでメンバーが草取り 明後日;女子メンバーが草取りを行う(いずれもラジオ体操後。さくらはキャンプに行くので行わない) ●水やり状況 ・メンバー12人中、半数の人が水やりをしていない。
	「その他」	<ul style="list-style-type: none"> ●メンバーの心意気 ・この日、水やりをやっていない等の種の会活動に無責任な状態が指摘された。それにも関わらず、話し合いの中で、ふざけてしまうメンバーが出てしまう。 →(担当職員より)年長児、小学生の代表の意識をしっかりと持って、夏休み中過ごして欲しい。また、今の気持ちのまま夏休み明けを迎えて欲しい、と伝える。
9月2日(日)	第9回 「交通ルール・マナーを守って登下校しよう」	<ul style="list-style-type: none"> ●最近の様子(小学校は8月29日から始業) ・①みぎわ園玄関前を通過して登下校している小中学生 ②登校中、クワガタを捕まえている子 ③工事現場のカラーコーンを蹴っている子 ④(最近ではないが)7月頃、下校時に小銭を見つけジュースを買い飲みしていた女児が2名 ⑤つい最近(一昨日)下校時にお金を拾い、ジュースを買い飲みしていた男児3名 ●対策・対応 ・①→夕食時、種の会メンバーが食堂にて全体に注意喚起する(中学生の耳にも届く)。 ・④→メンバーの1人が情報を得て発覚したが、7月の時点(聞いた時点)で当該児童に「7月の種の会で話題に出す」と警告していた。だが、実際に7月の話し合いで、このメンバーがその話題を出す事は無かった。 ・⑤→別のメンバーが情報を得てこの日の話し合いで話題に出してくれる。 ●こちら(職員)から伝えた内容 ・④⑤について。いずれもお金絡み、種の会の中だけではなく、いち早く職員に話をするべき事項である。その見極めをして欲しい、と伝える。 →その後、各々の担当職員に報告し事実確認等を実施する運びとなった。

9月21日(金)	第10回 「交通ルール・マナーを守って登下校しよう」	●最近の様子 ・①電柱落書き ②公園で立ち小便 ③カニ探し ④彼岸花を蹴飛ばす ⑤道路の真ん中で石をわざと蹴る ⑥赤信号なのにわざと手を挙げて横断歩道を渡る ⑦工事現場の足場に昇って遊ぶ
9月21日(金)	「交通ルール・マナーを守って登下校しよう」 (続き)	●対応 ・①～⑦の多くはさくら居室の男児である。→さくら居室のメンバーは、これらの事実を分かっている。「注意はしているが聞き入れない」と嘆く ●対策を講じる ・⑤⑥⑦は同じ男児の行動である。以前、実施した様に、種の会が呼び出して直接注意を促す事がメンバーから提案される。 ・実際に、この男児を呼び、どの様な注意喚起をするのか、メンバー内で相談、想像してもらう。 ●実際の呼び出し場面 ・この男児を呼び、事実確認や考えを聞くが、何も答えられなかった。結局、種の会から「以後、気を付けて登下校する様に」と伝えられ(それさえも返事出来なかった)、終了。
	「朝礼拝に間に合おう」	●最近の様子 ・運動会の練習で早く登校する子が多い事もあり、遅刻者は余り居ない。 ・りんどう居室の一部女児の遅効が頻発している。 ●朝の居室の様子(各居室毎) ・各居室の朝の状況をメンバーに聞いてみる。 ・朝、掃除の有無や多少の起床時刻の違いがある。 ・自発的に起床する子もいれば、保育士が起こしても、種の会メンバーが声を掛けても、起きない、急がない、そして遅刻・・・そういう居室もある ●対策を講じる ・最終的な目標は「小学生全員が朝の礼拝に間に合う事」だが、実現される為の手段を次回種の会までに各自考えておいて欲しい、と伝える。
10月21日(日)	第11回 「話し合いの進め方」	●メンバーより ・2週間前に、小4女児メンバーが「登下校の様子を話し合う場(毎週金曜の夕方実施)に来なかった」と指摘がある。また「種の会でも発言しない」との指摘もある。 →この女児は日頃から“話し合い”等のあらたまった場で発言する事が苦手な子。今年度メンバーに加わったが、これまでの種の会の中でも殆ど発言していなかったのは事実である。 ●担当職員より ・メンバーが12名もいる中、積極的に発言する子もいれば、人の意見を聞くのが上手な子もいれば、書記が上手な子もいれば、人の話を聞くのが苦手な子もいれば本当に色々な子がいる。その中で、この女児は意見する事が苦手 ・周囲の子はそういった女児に理解を示す姿勢が必要、またこの女児も意見を言わない事が当たり前にならない様に、と伝える。 ・みんな、得意不得意があるのだから、お互いに尊重し合う事、また自分の欠点を少しでも改善して行こうとする事、が大事だと伝える。
	「朝礼拝に間に合おう」	●みんなが礼拝に間に合おう為には… ・①礼拝をなくす ②掃除をなくす ③新聞配りの時にお兄さんについて行き、声をかける ④6:20に居室を廻り、声をかける ⑤居室毎に礼拝に出られた回数を数える ●具体的に策を講じる ・⑤を進める。→居室での集計を、園全体の集計に繋げる。集計表(案)はこちらで作成する。
	第12回 「朝礼拝に間に合おう」	●礼拝に出た回数のカウントについて ・集計表のサンプルを提示。→各居室用と、園全体の2種類を提示する。各居室で日々集計をし、毎週金曜日の登下校の話し合い時に、それを持ち寄り園全体の集計も行う。 ●居室の様子 ・今朝の礼拝参加の状況について。→居室の状況を把握しているメンバーも居れば、分からないメンバーもいた。 ・これから集計していくにしても、メンバー一人ひとりが遅刻者をなくす為の意識と共に声掛け等もして責任持って活動して欲しい(職員より)。

10月28日(日)	「外出届について ～当日の提出を許可して欲しい～」	<p>※昨年度からの継続事項。 今年度は始めて話し合う。</p> <p>●目的の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校が早く終わる日(4時限終了等)、友達から「遊ぼう」と誘われても、外出届けを書いていない為に遊べない。 ・友達の中には「外出届けを書いていないから、無理だよな」と園のシステムを知っていて、そういう子もいる。 <p>→「友達から誘われた時に限り、外出届けを当日に提出する事を許可して欲しい」→“外出に行く”事を、職員全体が把握する為にどうしたら良いかが課題だった。</p> <p>●対策案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①外出に行く人は、バッジ(目印)をつけて外出する ②外出に行く事を館内放送してもらう ③出発前に「これから外出に行きます」と、各居室を廻ってアナウンスする ④“外出中”というタスキをかけて外出する ・次回、継続検討。
11月23日(金)	第13回 「外出届けについて」	<p>●対策案 続き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記、①②③以外に… ④子ども携帯を持たせてもらう? ⑤外出届けを2階廊下の掲示板に貼り付ける ⑥非常ドアに貼り付ける <p>→話が逸れてしまい、これで終了。 次回に持ち越し。</p>
11月23日(金)	「朝礼拝に間に合おう」	<p>●集計の仕方(礼拝出席数のカウント)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的は「小学生全員が礼拝に出る事」だが… 朝の動きが各居室で異なる点で、一部メンバーから不満の声が上がる。 <p>→起床時刻 掃除の有無 一人当たりの掃除箇所の範囲 に違いがある事が分かる。</p> <p>→だが、カウントは実施する事で決定。</p> <p>●カウントの方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①礼拝に出た子をカウントする ②礼拝中に居ない子を数える ③明けのお兄さんに聞く <p>●誰がカウントする?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①水やり当番がそのまま行う ②種長がやる <p>●カウントした物の公表の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①食堂に日めくりカレンダーの様な物を作って置く ②カウント用のカードを作成し、食堂に貼る <p>→話し合いに集中出来ず、この日は終了。まだ最終的な決定にならない。</p>
1月18日(金)	種の会の実施予定日だったが、園全体でインフルエンザ罹患者数が多く、延期する。	
	第14回 この日の、種会が始まる前の様子…	<p>●種の会開始時刻になっても、メンバーが揃わない</p> <p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> ①女児メンバーから「お菓子だけが目当てで(種会に)来ないで!」と言われ、それに腹を立てて種の会に来ない男児メンバー1名。 ②生活上の問題点から、種の会に来る事が出来ない男児メンバー2名。
2月23日(土)	「『ルール』について」	<p>※かえで居室で、金銭的な課題が生じて、種の会メンバーを含む数名が関与。</p> <p>●世の中にどのようなルールがあるのか、何故ルールはあるのか、守らなければならないのか、考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにあるルールは? <ul style="list-style-type: none"> ①交通ルール(右側を歩く、車のスピード等) ②学校のルール(廊下を走らない、職員室に入る時には「失礼します」と言う等) ③園のルール(外出届けを出す、消灯時刻を守る等) 他にも、④社会上のマナー・ルール(万引きしない、苛めをしない等)もある。 <ul style="list-style-type: none"> ・何故ルールがあり、守らなければならないのか? <ul style="list-style-type: none"> ①危機を避ける為 ②チームワークやまとまりをよくする為 ③みんなの将来がグチャグチャにならない様に ④自分が困らない様に ⑤周囲の人達を守る為 <p>→メンバーからは色々な意見が出る。どの意見も正解。特に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎自分自身を守る為、自分自身の生活を守る為、ルールやマナーは存在する。 ◎ルールを見直したり、新たに作ったりする事も必要。 ◎種の会=小学生の代表として、守るべきは守る、見直すべきは見直す、その先頭に立ち、見本を示す事。

	「朝礼拝に間に合おう」	<p>※礼拝に小学生が全員出る様にする為…の話し合いだったが、以前から時間も経過した事や、メンバーの無責任さもあり、“礼拝出席状況をカウントする”という話題にならない。</p> <p>●礼拝遅刻に関する意見（メンバー同士が自由に意見を出していた）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻者は心の隙がある ・遅刻者が5人以上いたら食堂床拭きをさせる ・遅刻者がいた部屋のメンバーが指導する ・遅刻が多い子には交通安全の時の様に、種会が呼び出し注意する <p>●前回の話し合いの続き（礼拝参加カウントの仕方）に話を戻す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カウント表示用の数字カードを作成する事になる。→明日、集まって行う。 ・表示は食堂に決定。
2月24日(日)	第15回 「朝礼拝に間に合おう」	<p>●礼拝参加状況のナンバーカード作り①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の種の会で、礼拝出席状況をカウントし、表示する事になった。 ・今回は表示用のナンバーカードを作成する。 <p>①色画用紙を渡し、サイズ・枚数を決め、切り抜く。→A4サイズに決定。</p> <p>②カードに数字を書き入れる。</p> <p>→百の位；0～3 十の位；0～9 一の位；0～9 合計24枚作成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙のまま、掲示したら悪戯等で破れるかも知れない。→ラミネートした
3月8日(金)	第16回 「朝の礼拝に間に合おう」	<p>●礼拝参加状況のナンバーカード作り②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナンバーカード作りの続き。前回作ったカードをラミネート加工する。 ・カードが完成し、メンバーが管理する事になる。
	第17回(最終回) 「朝礼拝に間に合おう」	<p>●礼拝カウントの開始時期と、そのアナウンスの方法について</p> <p>①開始時期；4月4日(木)～(小学校の始業に合わせる)</p> <p>②アナウンス；4月3日(水)の夕食時に実施 24年度メンバーの内、新5、6年が前に出て実施する内容、目的等を小学生に伝える</p> <p>●カウントの実際について</p> <p>①“月曜～日曜”を1クールとする。大地→けやき→かえで→りんどう→さくら の順にカード束を管理する。</p> <p>②カード管理している居室のメンバーが、その期間の礼拝参加状況を確認し、登校前にカードを入れ替える。</p> <p>③1年間の継続事項とする。全体で礼拝が無い時以外は、カウント対象とする。</p>
3月25日(月)	「今年度の振り返り」	<p>●種の会全体での振り返り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンバー一人ひとりが、この1年を振り返り発表してもらう。 <p>①4年女子…自分の意見がもっとちゃんと言えたらよかった。</p> <p>②4年女子…同上。</p> <p>③4年男子…話し合いでふざけたので、来年度はしっかりやりたい。皆、笑顔で発表して、良い雰囲気だった。</p> <p>④5年女子…野菜や花の水やりが途中でいい加減になってしまった。来年度は最後までしっかりやりたい。</p> <p>⑤5年女子…外出届けの件、これも途中で話し合いが止まっている。来年度はきちんとやりたい。</p> <p>⑥5年男子…意見は言ったが、なかなか通らなかった。難しかった。</p> <p>⑦5年男子…人の意見を笑ってしまい、悪かった。</p> <p>⑧6年女子…“やる”と決めた事が、中途半端になってしまった感じがする。(交通安全、畑、外出届け等、)</p> <p>⑨6年男子…畑作業をした時にみんながふざけていた事を思い出す。来年度はしっかりやって欲しい。</p> <p>⑩6年男子…人の意見が聞き取れなかった。無駄話をして聞いていなかった。</p> <p>⑪6年男子…人の意見をボーッと聞いていて、聞き取ってなかった。</p> <p>⑫6年男子…意見はとてもよく出た方だと思う。でも、解決出来ていない事も多かった。</p>

②中高生の部

期日	テーマ（議題）	内容
4月18日	役割分担	高校生6名、中学生2名でスタートを切る。
4月29日	①部活動に入部している児童の携帯電話所持について	①部活動に入部している児童の携帯電話所持について話合う。これまで、小遣いで所持する手段等模索していたが、通常の契約をし所持したいという希望があり、子ども手当を使用しての所持について検討した。現在携帯電話を所持している児童の料金を元に試算をしてみた。部活動引退後にアルバイトをはじめれば、使用方法を間違えなければ対応は可能。子ども手当使用する方法で、企画会議等で話を出す。また、他の児童に対してもルールを見直し、不公平感のないよう対応する。
5月13日	①部活動に入部している児童の携帯電話所持について ②中学生の自転車所持について	①対象の児童については、継続して個々に考えをまとめる。対象以外の子どもについては不平等にならないよう、これまでのルールを見直す。具体的には3ヶ月というアルバイト期間が条件となっているが、期間を短くすることが出来ないかを話合った。 ②中学生の自転車の所持についてはルール整備されているが、所持した前例がない。盗難保険や修理が必要になった時の費用について等、詰めなければならない点がある。個々に考える。
8月12日	①夏祭り高校生模擬店手伝いの役割決め ②携帯電話所持について	①種会メンバー、高校生対象に法人夏祭りの模擬店手伝いの役割分担を行う。また、くじ引きの景品の準備・包装の手伝いもしてもらう。 ②携帯を所持してから、個々に決めたことが守られているか状況を確認する。
8月29日	①掃除時間について	①夕食を終わる時間がバラバラなので、掃除を待っている時間、落ち着かない。また、掃除をしないで済ましてしまう人もいるため、改善策を検討した。 [結果]18時50分に一齐に掃除を始める。時間までの過ごし方は特に取り決めはしない。 ②キャンプ、カラオケ、ボーリングを種の会で企画したいとの意見が出る。キャンプと、ボーリングについては行事費が絡んでくるため、実施は難しいという話になった。カラオケについては過去に実施していたこともあるので、情報を集める。
12月	①クリスマス会の役割分担 くじ引き準備	①種会メンバー、高校生対象にクリスマス会の余興の手伝いの役割分担を行う。
1月	①カラオケ大会について	①カラオケの機材について情報を集める。業者に依頼した場合には数万円の費用がかかる。みぎわ園デイサービスから機材を借りるという方法もあるとのことなので、検討する。

(資料7) 苦情・要望受付状況

番号	期日	申し出人	受付者	分類	申し出内容	処理経過	結果
1	4月5日	児童	持田	ケアに関する	①消灯時間の延長②部屋にパソコンが欲しい③礼拝を無くして欲しい④親に1人出会いたい⑤何でも年下優先はあり得ない⑥小遣いを増やして欲しい⑦二段ベッドが欲しい⑧CDデッキが2台欲しい⑨ヘアアイロンを小学生も使いたい⑩ヘアアイロンを自分で所持したい	話を聞く中で真剣な要望ではないことを確認した。ひまわり園の予算、安全管理、公平感などの重要性を伝え、無責任な要望ではなく責任あるものを提出して欲しいと伝えた。生活の主体は子どもたちであるということも併せて伝えた。	○
2	5月3日	児童	田中	個人の嗜好	眼鏡のフレームの色が気に入らないので代えて欲しい。	公費で作ってもらった物であり、このような理由では交換することはできないが、小遣いを使用するならば可能であると返答。本人は「小遣いでは購入するつもりはない」とのこと。	○
3	5月9日	児童	田中	個人の嗜好	高校の部活動でダンス同好会に入った。予算にはないが練習用ジャージを購入して欲しい。	年度予算には入っていないが、必要物品であるので購入する。	○
4	6月3日	児童	飯田	個人の嗜好	インターネットの通販サイトで韓流スターのグッズを買わせて欲しい。	担当指導員の使用しているパソコンで、担当職員の許可を得た上で同席の元でなら許可をする。	○
5	6月25日	保護者	田中	ケアに関する	保護者の面会の時に児童の身体に痣を発見した。担当に確認したところ虫さされの痕だということで市販の薬で対応したと説明したが「掻いた痕にバイ菌が入ったらどうするのか」「何故通院しないのか」と苦情を言われた。	申し出があった後に皮膚科に通院して報告したが保護者は納得せず児童相談所にも訴えた。児童相談所には対応の経過を報告し、通院の記録と薬の処方箋写しも送付して説明してもらった。また施設長の指示で長袖を着させることと虫除けスプレーを使用することを行った。	○
6	7月7日	児童	金森	ケアに関する	専門学校に進学したが、施設でもらう小遣いだけでは友達との交流もままならないためアルバイトで貯金したお金を小遣いとして使いたい。	貯金は本来は自立後の蓄えとして貯めている物だが、上限を決めて許可することとする。上限は4,000円とする。	○
7	7月9日	児童	金森	ケアに関する	眼鏡の度数が合わなくなってしまったので新しい物を購入して欲しい。またフレームも交換したい。	必要なものなので購入許可。フレームに関しては本来使用できる物であれば継続使用して欲しいが児相の了解があれば許可する。	○
8	8月30日	児童	種田	個人の嗜好	インターネットの通販サイトでアイドルグッズを買わせて欲しい。	担当指導員の使用しているパソコンで、担当職員の許可を得た上で同席の元でなら許可をする。	○
9	9月15日	保護者	持田	ケアに関する	子どもたちとの外出を許可して欲しい。子どもたちと面会室などで会うだけでは息が詰まる。	この保護者は、施設の一時帰省のルールを守らず、また担当職員との約束も破るなど対応に苦慮している。会議において検討した上で要望には応えられないと返答する。	△
10	9月15日	児童	飯田	個人の嗜好	高校卒業前の「お別れ遠足」に着ていく私服を購入したい。園の予算は使ってしまったので、アルバイト料の貯金から15,000円使いたい。	本児のこれまでの生活は模範的なものでありまた、卒業までの目標金額60万円も達成できる見込みがある。アルバイト料の貯金が45万円あるので使用を認める。	○
11	10月5日	近隣住民	持田	その他	園舎の方から軟式ボールが飛んできて、設置したばかりのソーラーパネルを直撃した。以前にも同じようなことがあり、苦情を出しても改善されない。もし破損しているならば弁償して欲しい。	ボールを投げた児童を連れてお詫びに伺い、また、ソーラーパネルの設置業者に依頼して破損状況を調べてもらった。幸いにも破損はなく弁償には至らず。児童には個人及び全体にこの問題を伝え、以後2度とないように注意を行った。	○
12	12月16日	保護者	田中	その他	子どもの写真をデータ（SDカード）でもらいたい。	本児だけの対応でできることではなく、サービスの均等化は必要であるが、現状で職員がそこまでやることができるわけではないため要望には応えられないと返答した。	○

(資料8) 地域社会活動

①ボーイスカウト活動（富士一団）登録人数19名

期日	活 動 内 容	活 動 場 所
4月28日	緑の募金活動	アピタ吉原店
5月5日	わいわいわんぱく源平合戦	広見公園
5月27日	ハイキング	岩本山公園
7月15日	磯遊び	井田海水浴場
7月22日	富士まつりパレード参加	中央公園
8月26日	水泳訓練	福祉川
9月9日	上進式	みどり園 芝生
9月16日	クリーン作戦	今泉地区
9月30日	キャンプ装備確認	ひまわり園 グランド
10月6日～ 10月8日	キャンプ	本栖湖青少年スポーツセンター
10月28日	カブラリー	富士中央公園～吉原商店街
11月24日	紅葉ハイキング	紅葉台
12月23日	クリスマスケーキづくり	ひまわり園
3月9日	凧上げ	緑地公園

②吉原小学校子ども会活動

期日	活 動 内 容	結 果
5月13日	第5回吉原小校区ドッジボール大会	高学年男子優勝 高学年女子優勝 低学年男女混合準優勝
7月1日	わくわくフリーマーケット	売上金8,580円 クリスマス献金、野菜苗購入費に充てる
9月23日	第6回中部ブロックドッジボール大会	高学年男子第3位 高学年女子初戦敗退 低学年男女混合第4位
12月9日	お楽しみ会	カップスタック
12月23日	第6回市子連ドッジボール中央大会	高学年男子第4位

③芙蓉会フットボールクラブ（通称：FFC）登録選手12名

期 日	内 容	備 考
4月1日	第7回静ガス杯フットサル 5年生の部	FFC1-1 TSCB FFC1-2 鷹岡天間 FFC4-1 富士第二 FFC0-2 アゼス
5月20日	前期リーグ戦 5年生の部	FFC1-4 ロプタ FFC2-2 吉原第一B
5月27日	前期リーグ戦 5年生の部	FFC0-1 大淵 FFC4-0 岩松
9月15日	後期リーグ戦 5年生の部	FFC0-4 セパラーダ FFC5-0 富士川
9月16日	後期リーグ戦 5年生の部	FFC0-3 フリーダム FFC4-0 岩松
1月13日	富士市スポーツ祭フットサル6年の部	

(資料9) 家庭支援等の実施状況

①児童と保護者の連絡状況 (3月1日現在の在籍児童)

状況	一時帰省	一時外出	面会	電話のみ	手紙のみ	連絡なし
人数	38	11	10	3	0	23

合計
85名

②面会実施状況

月	面会件数	月	面会件数
4月	7	10月	7
5月	17	11月	9
6月	15	12月	12
7月	6	1月	6
8月	7	2月	6
9月	14	3月	14

合計
120件

③一時帰省状況

	帰省期間	人数	備考
夏季	8/8~16	38	※個別ケースにより期間の長短あり
冬季	12/28~1/3	38	※個別ケースにより期間の長短あり

④ショートルフラン (短期里親委託事業) 状況

	帰省期間	人数	備考
夏季	8/8~16	7	※個別ケースにより期間の長短あり
冬季	12/28~1/3	8	※個別ケースにより期間の長短あり

⑤週末里親委託状況 (通年で2名の児童を委託)

月	委託人数	月	委託人数
4月		10月	4
5月		11月	5
6月	5	12月	
7月	5	1月	2
8月		2月	2
9月	5	3月	2

※1回につき、概ね2泊3日で実施 (一部1泊2日)

⑥里親認定前研修

	見学	研修	実習	人数
1		1月10日	1月12日	6
2				
3				
4				

⑦ ふじ虹の会との意見交換

11月25日

⑧ 里親月間行事

10月14日 フォスターセッション意見発表

(資料10) 幼稚園・学校・地域との連携

①原田幼稚園

期 日	内 容
4月11日	家庭訪問

②吉原小学校

期 日	内 容
5月14日	ひまわり園との連絡会①
5月15日	家庭訪問
3月8日	新入学児童連絡会

③吉原第一中学校

期 日	内 容
6月28日	ひまわり園との連絡会①
11月14日	ひまわり園との連絡会②

④園への招待行事

期 日	内 容
8月18日	芙蓉会夏祭りに招待 町内、原田幼稚園、吉原小学校、青葉台小学校、吉原第一中学校、吉原第二中学校
12月25日	芙蓉会クリスマスに招待（ホワイトパレス） 原田幼稚園、吉原小学校、青葉台小学校、吉原第一中学校、吉原第二中学校

⑤園への訪問行事

期 日	内 容	団 体
11月23日	餅つき	ADEKA労働組合
12月16日	クリスマス慰問	富士中央ライオンズクラブ
3月25日	VOXRAY たいようのたね	VOXRAY

⑥地域防災訓練への参加

9月1日	緑が丘町内の防災訓練に中学生が参加
12月2日	男子－消火訓練（芙蓉会正門前）
	女子－応急手当（緑が丘公民館）

⑦ボランティア協力

- ・学習指導…小西様 山崎様 佐藤様 山本様 河合様 佐野様 宮野様
- ・伝統文化…増田様 永嶋様 渡辺様 小林様 杉山様 松田様
- ・音楽…椿様（ギター） 佐野様 荒川様（ピアノ）
- ・フラワーアレンジ…高橋様（なでしこの会）
- ・クリスマス…M&4D' S様 アミーコ・フリーチェ様
- ・散髪…One's Mind様 リプルマーク様 Def hair BRAND様 美容室Bee様

⑧施設開放

期 日	団 体	内 容	施設
4月15日	富士市サッカー少年委員会	審判委員会	学習室
4月27日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
5月8日	デイサービス連合会	駐車場	グラウンド
5月16日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
5月25日	東部サッカー少年委員会	東部少年委員会	学習室
6月8日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
7月5日	東部サッカー少年委員会	東部少年委員会	学習室
7月6日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
8月9日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
9月19日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
1月2日	東部サッカー少年委員会	東部少年委員会	学習室
10月9日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
11月8日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
12月11日	地域ケア会議	駐車場	グラウンド
12月12日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
1月23日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
2月21日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
3月21日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
3月14日	小地域ケア会議	駐車場	グラウンド

(資料 1 1) 児童の健康管理

①受診状況 (治療・検査・予防接種)

科 別	月 別												合 計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
入 院												2	2
土屋医院	13	13	7	21	9	12	13	9	32	44	22	44	239
土屋医院 (薬のみ)	15	23	16	13	19	17	19	17	17	12	14	15	197
源太坂クリニック	1	2	1	1									5
源太坂クリニック (薬のみ)						1		1	2	1			5
小川医院	1	0	2		2		2	4	3	5	4		23
望月医院												1	1
勝又医院		1											1
片岡歯科医院	12	13	20	15	5	11	14	10	5	3	6	11	125
メロディ歯科		1	8				1						10
杉山歯科			2										2
図書館前歯科				2									2
芦川病院	1	5	10	4		3	3	1	1		1		29
三日市整形外科	2	2	1						1	1			7
鈴木整形外科		4				1			1	1	1	1	9
前田整形外科			1										1
月岡医院	2	8	10	1	1	5	4	6	1	1	2	1	42
米山耳鼻科												1	1
善得クリニック		2	3	1	1			3		4			14
長谷川耳鼻科	1			1	2	1	1		1	1		6	14
里和耳鼻科			1	2									3
富士市立中央病院 (整形外科)	4	1	1							1			7
富士市立中央病院 (脳神経外科)	1	1	1										3
富士市立中央病院 (小児科)								1	2	2	1	1	7
富士市立中央病院 (耳鼻科)		1		2	3								6
富士市立中央病院 (口腔外科)										1	3	1	5
富士市立中央病院 (眼科)					1								1
聖隷富士病院 (外科)							2	2	2	1			7
聖隷富士病院 (泌尿器科)					1								1
たかいクリニック											5	4	9
米本皮膚科			3	1	4	3	3		2				16
加藤眼科医院吉原分院			4			1	1	1			1		8
朝岡眼科医院	1	6	5	2		1	1	1	1	3	4		25
吉原中央眼科			3		4								7
羅眼科			5	2	1			1				2	11
小森眼科	1		1			1	1	1	1				6
県立こども病院 (耳鼻科)						1							1
県立こども病院 (形成外科)				1									1
県立こども病院 (眼科)	1			1			1			1			4
県立こども病院 (内分泌代謝科)	1		1	1		1	2	1	1	1		1	10
県立こども病院 (脳外科)							1						1
県立こども病院 (薬のみ)	1												1
県立こども病院 (発達心療内科)						1							1
富士メンタルクリニック	1	1	2	2	1	2	2	1	1	1	1	1	16
てらだ医院										1	1	1	3
富士市立救急医療センター (小児科)	2		1	2		2			1	6	3	3	20
富士市立救急医療センター (外科)				1									1
合 計	33	48	86	42	26	35	39	34	26	35	33	35	908

インフルエンザ感染者数：A型 25名、B型 1名

②年間通院件数の推移

年 度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
件 数	971	907	857	673	850	817	908

③健康診断

4月18日	ひまわり幼稚園	土屋医院
10月10日	小学生以上	土屋医院

※一部児童 (5名) 10/16、26、29

④歯科検診

4月10日	ひまわり幼稚園	片岡歯科
-------	---------	------

⑤予防接種

インフルエンザ予防接種		全員接種 (12歳以下は2回接種10/10、24 他は1回)			
三種混合	延べ人数	2	ポリオ	延べ人数	1
二種混合 (ジフテリア・破傷風)	延べ人数	2	ヒブワクチン	延べ人数	1
MR (麻疹・風疹)	延べ人数	13	小児肺炎球菌ワクチン	延べ人数	1
日本脳炎	延べ人数	52	子宮頸がんワクチン	延べ人数	7

(資料12) 平成24年度 行事食の献立

①季節ごとの行事食

月日	行事名	献立
4月5日(木)	小・中入学式	お赤飯・ハンバーグ・ポテト・人参・ブロッコリーのサラダ・フルーツジンジャー 春野菜のスープ
4月8日(日)	ひまわり園お花見	太巻き寿司・いなり寿司・チキンナゲット・つくね・レタス・ミニトマト 枝豆・かまぼこ・いちご・ジュース
5月5日(土)	こどもの日	オムライス・ハンバーグ・サラダ菜・人参・フライドポテト・いちごミルク 春野菜のスープ
6月9日(土)	吉原祇園祭	助六寿司・カップラーメン・ゼリー
6月10日(日)	芙蓉会創立記念日	お赤飯・ヒレカツ・キャベツ・トマト・ポテトサラダ・プリン・お吸い物
7月7日(土)	七夕	七夕そうめん・炒り鶏・えだまめ・すいか
8月18日(土)	芙蓉会夏祭り	焼きそば・フランクフルト・焼きとうもろこし・やきとり・かき氷・揚げたこやき そうめん・アイス・ジュース
9月1日(土)	防災の日	【炊き出し訓練】わかめご飯・五目豆・オレンジ・すいとん
9月15日(土)	中学運動会	おにぎり・鶏肉のから揚げ・エビフライ・えだまめ・厚焼きたまご・サラダ菜 ミニトマト・梨・ジュース
9月29日(土)	小学校運動会	おにぎり・鶏のから揚げ・フライドポテト・つくね・サラダ菜・ミニトマト 枝豆・厚焼きたまご・みかん・ジュース
10月13日(土)	原田運動会	サンドイッチ・ミニアメリカンドック・チキンナゲット・フライドポテト ほたて風味フライ・サラダ菜・ミニトマト・枝豆・梨・ジュース
12月3日(月)	七五三	お赤飯・エビフライ・キャベツ・ミニトマト・ポテトサラダ・うさぎりんご ストロベリーババロア・お吸い物
12月24日(月)	クリスマス	えびピラフ・チーズハンバーグ・サニーレタス・人参・グリーンサラダ いちごミルク・コーンポタージュ
12月30日(日)	もちつき	きなこ・大根おろし・大福
1月1日(火)	おせち	ご飯・鶏肉の照り焼き・日の出えび・吹き寄せ煮・昆布巻き・栗きんとん かずのこ・伊達巻・紅白かまぼこ・紅白なます・黒豆・田作り・いちご
1月7日(月)	七草粥	七草粥・厚焼きたまご・つけもの・ヨーグルト
2月3日(日)	節分	ご飯・鬼のハンバーグ・スパゲティーサラダ・いちごミルク・ほうれん草のスープ
3月3日(日)	ひなまつり	菜の花ちらし・エビフライ・キャベツ・トマト・ポテトサラダ・三色花ゼリー・お吸い物
3月19日(火)	小・中卒業式	お赤飯・鶏肉のカシューナッツ炒め・いかと胡瓜の酢の物・ゼリー・春雨スープ
3月20日(水)	卒業・旅立ちを祝う会	寿司・サンドイッチ・焼きそば・鶏肉のから揚げ・エビフライ・骨付きウインナー やきとり・えだまめ・フライドポテト・ごま団子・プチケーキ・フルーツ盛り合わせ・ジュース



【七夕そうめん】



【おせち料理】

②誕生会献立

月日	献立
4月28日(土)	ピザ・鶏肉のから揚げ・ミモザサラダ・メロン ケーキ・ジュース
5月26日(土)	手巻き寿司・ミニアメリカンドック・チキンナゲット・小エビのカクテルサラダ・アメリカンチェリー ケーキ・ジュース
6月23日(土)	ピザ・やきとり・オニオンチップサラダ・えだまめ・すいか ケーキ・ジュース
7月21日(土)	寿司・鶏肉のから揚げ・ミニアメリカンドック・グリーンサラダ・桃 ケーキ・ジュース
8月25日(土)	オムライス・ハンバーグ・サニーレタス・人参・フライドポテト・巨峰・ほうれん草のスープ ケーキ・ジュース
9月22日(土)	ハンバーグドリア・ミニアメリカンドック・小エビのカクテルサラダ・みかん・ほうれん草のスープ ケーキ・ジュース
10月27日(土)	寿司・やきとり・ミニアメリカンドック・グリーンサラダ・柿 ケーキ・ジュース
11月24日(土)	ピザ・骨付きウインナー・小エビのカクテルサラダ・えだまめ・フルーチェ ケーキ・ジュース
12月1日(土)	オムライス・鶏のウイング揚げ・グリーンサラダ・リッチヨーグルト・しめじとハムのスープ ケーキ・ジュース
1月26日(土)	ハンバーグドリア・ミニアメリカンドック・小エビのカクテルサラダ・いちごミルク・オニオンスープ ケーキ・ジュース
2月23日(土)	バターロール・マカロニグラタン・ミモザサラダ・いちごミルク・かぶと人参のスープ ケーキ・ジュース
3月23日(土)	手巻き寿司・ヒレカツ・サニーレタス・ミニトマト・彩サラダ・いちごミルク ケーキ・ジュース

③個別誕生日リクエスト献立

月日	年齢	性別	リクエスト	献立
4月6日	5	女	ちゃんぽん	ちゃんぽん麺・にら饅頭・サラダ菜・いちごミルク
4月17日	13	女	ピザトースト	ピザトースト・ポトフ・もやしとハムのカレーマリネ・グレープフルーツ
4月18日	14	男	カツカレー	カツカレー・シーフードサラダ・パイナップル
4月28日	8	男	チーズパン	丸角チーズパン・バターロール・ハムサラダ・いちご・牛乳
4月30日	3	女	おせんべい	おやつ→おせんべい
5月1日	11	女	カレーうどん	カレーうどん・わかめとレタスのサラダ・キャベツと塩昆布のあえ物・メロン
5月3日	14	女	マカロニグラタン	バターロール・マカロニグラタン・カリカリじゃこのサラダ・りんご・ジュリアンスープ
5月6日	9	女	クリームスパゲティ	キャベツとハムのクリームスパゲティ・ほうれん草とコーンのサラダ・りんご
5月9日	5	男	シュークリーム	おやつ→シュークリーム
5月14日	10	女	カフェオレ	くるみコッペ・バターロール・チリコンカルネ・バナナ・カフェオレ
5月16日	15	女	バニラアイス	おやつ→バニラアイス
5月21日	13	男	天ぷらそば	天ぷらそば・里芋と鶏肉の煮ころがし・胡瓜とゆかりの和え物・メロン
5月22日	4	男	フライドポテト	ご飯・自身魚のピカタ・サニーレタス・ブロッコリー・フライドポテト・りんご・ハムと野菜のスープ
5月28日	15	女	ハンバーグドリア	ハンバーグドリア・大根と油揚げのサラダ・パイナップル・白菜とコーンのスープ
5月29日	6	男	チョコアイス	おやつ→チョコアイス
5月31日	13	男	そうめん	冷やしそうめん・いか里芋の含め煮・塩こんぶ和え・オレンジ
6月4日	7	女	クリームスパゲティ	南瓜のクリームスパゲティ・彩サラダ・メロン
6月5日	3	男	ホットケーキ	おやつ→バターインホットケーキ
6月6日	4	男	ウインナー	バターロール・クロワッサン・サラダ(ウインナー)・キウイ・牛乳
6月11日	9	男	チョコアイス	おやつ→チョコアイス
	8	男	大学芋	ご飯・チンジャオロース・大学芋・白菜のおかか和え・メロン・わかめスープ
6月15日	8	女	醤油ラーメン	醤油ラーメン・ナムル・パイナップル
	14	女	抹茶のもの	おやつ→抹茶アイス
6月16日	9	女	サンドイッチ	サンドイッチ・チキンナゲット・サラダ菜・ミニトマト・りんご・ほうれん草のスープ
	15	男	抹茶アイス	おやつ→抹茶アイス
6月25日	5	女	バナナアイス	おやつ→バナナアイス
6月30日	9	女	ブタメン	おやつ→ブタメン
7月9日	10	男	チョコバナナ	おやつ→チョコバナナ
7月17日	6	男	ピザトースト	ピザトースト・野菜のコーンクリームスープ・かぶとハムのマリネ・ぶどう
7月21日	9	女	ミートソース	スパゲティミートソース・わかめとレタスのサラダ・パイナップル
7月27日	11	男	冷やしラーメン	冷やしラーメン・里芋と鶏手羽中の炒め煮・すいか
8月1日	12	女	バニラアイス	おやつ→バニラアイス
8月3日	13	女	焼き餃子	ご飯・焼き餃子・コーンとかにかまのもずく酢・りんご・もやしとわかめのスープ
8月9日	12	男	ポテトサラダ	ピザトースト・野菜のコンソメスープ煮・ポテトサラダ・オレンジ
8月11日	7	男	ピザトースト	ピザトースト・野菜のコンソメスープ煮・ポテトサラダ・オレンジ
	7	女	ポッキー	おやつ→ポッキー
8月15日	5	男	たこ焼き	おやつ→たこ焼き
8月17日	13	女	グラタン	バターロール・スパゲティグラタン・カリカリじゃこのサラダ・すいか
8月18日	12	男	ほうとう	ほうとう風・ナッツサラダ・オレンジ
8月21日	6	女	ハンバーグ	ご飯・ハンバーグ・サニーレタス・人参・ほうれん草とコーンのサラダ・グレープフルーツ・パスタスープ
	13	男	カップラーメン	カップラーメン・コールスローサラダ・すいか
8月25日	9	女	フライドポテト	オムライス・ハンバーグ・サニーレタス・人参・フライドポテト・巨峰・ほうれん草のスープ
8月26日	15	男	たこ焼き	おやつ→たこ焼き
8月27日	9	男	フランスパン	バケット・チリコンカルネ・バナナ・牛乳

月日	年齢	性別	リクエスト	献立
8月28日	13	男	キムチチャーハン	キムチチャーハン・にら饅頭・サラダ菜・すいか・チンゲンサイとえのきの中華風スープ
8月29日	10	女	抹茶アイス	おやつ→抹茶アイス
8月30日	15	男	焼きそば	焼きそば・わかめとレタスのサラダ・パイナップル・ほたての中華スープ
	19	女	バナナアイス	おやつ→バナナアイス
9月3日	5	女	フライドポテト	ご飯・マスのムニエル・サラダ菜・ブロッコリー・フライドポテト・グレープフルーツ・白菜とコーンのスープ
9月9日	8	男	焼き餃子	ご飯・焼き餃子・判三糸・りんご・白菜のスープ
9月16日	18	男	とんこつラーメン	とんこつラーメン・おさつスティック・梨
9月24日	11	女	オムライス	オムライス・大根とカニカマのサラダ・パイナップル・ジュリアンスープ
9月27日	12	男	チョコバナナアイス	おやつ→チョコバナナアイス
9月29日	4	男	仮面ライダーのお菓子	おやつ→仮面ライダーチョコスナック
9月30日	6	女	マカロニグラタン	バターロール・マカロニグラタン・グリーンサラダ・十五夜ゼリー・野菜のスープ
10月6日	15	女	グラタン	バターロール・えびグラタン・わかめとレタスのサラダ・オレンジ・ジュリアンスープ
10月20日	17	男	五目炒飯	五目炒飯・三色ひたし・フルーツ白玉・しいたけのスープ
10月25日	17	男	ポークカレー	ポークカレー・ナッツサラダ・サイダーかん
10月30日	16	男	ハンバーガー	ハンバーガー・ブロッコリーのサラダ・フライドポテト・ジュース
10月31日	15	男	カツカレー	カツカレー・コールスローサラダ・パイナップル
11月10日	16	女	カツオムライス	カツオムライス・ツナと大根のサラダ・りんご・ほうれん草のスープ
11月17日	15	女	チョコパイ	おやつ→チョコスティックパイ
12月2日	11	男	ハンバーガー	ハンバーガー・ナッツサラダ・フライドポテト・レモンティ
12月6日	9	女	ピザトースト	ピザトースト・野菜のコーンクリームスープ・かぶとハムのマリネ・オレンジ
12月7日	9	男	ポークカレー	ポークカレー・オニオンチップサラダ・ぶどうの2層ゼリー
12月18日	10	男	ソーセージカレー	ソーセージカレー・わかめとレタスのサラダ・オレンジ
12月19日	10	女	ピーマンの肉詰め	ご飯・ピーマンの肉詰め・サニーレタス・魚介のマリネ・ゼリー・味噌汁
1月15日	17	男	カツカレー	カツカレー・和風サラダ・オレンジ
1月18日	12	男	とろろかけ鉄火丼	とろろかけ鉄火丼・厚揚げとレタスの煮びたし・浅漬け・りんご・味噌汁
1月19日	7	男	フライドポテト	ご飯・さけのソテーきのこあん・フライドポテト・オレンジ・とろろ昆布汁
1月25日	5	男	フライドポテト	ご飯・たらのホイル蒸し・フライドポテト・パイナップル・味噌汁
1月28日	9	女	抹茶プリン	おやつ→抹茶プリン
1月30日	5	女	アンパンマンのお菓子	おやつ→アンパンマンチョコ
2月18日	5	男	ぶどうのヨーグルト	ご飯・豚肉のガーリックソテー・コーンソテー・サニーレタス・レタスと白す干しわかめ酢の物・ぶどうのヨーグルト・味噌汁
2月23日	13	女	マカロニグラタン	バターロール・マカロニグラタン・ミモザサラダ・いちごミルク・かぶと人参のスープ
3月11日	9	女	ハンバーグ	ご飯・ハンバーグ・サニーレタス・人参・スパゲティーサラダ・パイナップル・春野菜のスープ
3月22日	6	男	オムライス	オムライス・和風サラダ・グレープフルーツ・白菜とベーコンのスープ
3月23日	17	男	アイス	おやつ→アイス
3月27日	16	女	餃子	ご飯・焼き餃子・春雨サラダ・パイナップル・ほたての中華スープ
3月28日	5	男	かぼちゃコロッケ	ご飯・かぼちゃコロッケ・ししゃもフライ・キャベツ・ひじきと大豆のサラダ・りんご・味噌汁
3月31日	14	男	チキンラーメン	チキンラーメン・おにぎり・コーンサラダ・パイナップル

④調理実習献立

月日	献立
4月15日(日) 銀河	・焼きうどん ・グリーンサラダ
5月27日(日) かえで	・冷やし中華 ・フルーツポンチ
6月17日(日) さくら	・カレー(各部屋で決める) ・トマト ・胡瓜 ・サイダーかん
7月15日(日) りんどう	・つけナポリタン ・グリーンサラダ
8月10日(金)～12日(土) 各部屋	・帰省期間中のため各部屋でメニュー決め
9月17日(月・祝) けやき	・ピザトースト ・コーンサラダ ・ゼリー
10月7日(日) 大地	・和風スパゲティ(各部屋で決める) ・こんにゃくゼリー ・キャベツのスープ
11月10日(土) 銀河	・焼きそば ・杏仁豆腐 ・スープ
12月31日(月)～1月2日(水) 各部屋	・帰省期間中のため各部屋でメニュー決め
2月10日(日) 各部屋	・バレンタインのチョコ作り
3月10日(日) かえで	・焼きうどん ・フルーツポンチ ・わかめスープ



【調理実習の様子】

(資料13) 事故・ヒヤリハット報告

①事故報告

番号	期日	氏名	年齢	発生時間	発生場所	状況	症状・対応など	改善点など
1	4月22日	F S	4	19:20	居室	夕食後に幼児の部屋でパジャマに着替え、小学生の掃除が終わるのを待っていた間に、幼児部屋にあるカラーボックスの一部破損した場所の木片をむしり取って口に入れてしまい、蕁麻疹がでた。	目の周辺と額に蕁麻疹が出たため月岡医院に通院した。最初は原因がわからず食物アレルギーを疑い食事制限がかかったが、本人からの聴き取りで木片を口にしたことが判明。ダニアレルギーの可能性ありとのこと。	破損した箇所を補修し、後日新しいカラーボックスを購入した。職員が部屋に不在だったため、可能な限り目を離さないこと、食べ物ではないものをむやみに口に入れないように話をした。
2	6月2日	職員		16:20	グラウンド	職員が公用車を運転中にバックで移動する際に右後部をガードレールに擦ってしまった。	修理に出すほどの傷ではないため特に対応はしていない。	運転に際しては常に周辺に注意して安全に配慮する。
3	6月30日	K R	8	7:20	吉原公園	登校中に通学路である吉原公園内の階段で足を踏み外して転倒。見回りの指導員に他児から報告があった。しばらく歩いた後に途中で確認すると右足踝が腫れてきたので車で帰園、通院	右足踝あたりの「骨軟骨骨折」と診断を受けた。	子どもたちから報告を受けた時点ですぐに状態を確認して早めの判断を行うことを徹底したい。
4	6月23日	職員		10:45	駐車場	面会に来ていた児童保護者の駐車している乗用車にひろみ保育士が公用車を接触させてしまった。	保護者に謝罪する共に保険会社に連絡、現場士が公用車を接触させた上で保険対応となった。	乗用車の運転は周囲に配慮して自己の内容に注意することを全職員に周知徹底した。
5	7月7日	I R	11	15:45	グラウンド	サッカー少年団の練習中に外周を走っていた本児が防球ネットに縛ってあるバッティング練習用のタイヤに躓いてコンクリート製の支柱に頭をぶつけてしまった。指導員がグラウンドにてサッカー指導中であったが、グラウンド内のゲームの指導中で外周を走っている本児達に目が行き届かず、気づかず頭を打ったという報告もなかったため練習に合流した。練習終了後に額が腫れてきたため救急医療センター通院。	事故発生は土曜日で救急医療センターに通院し、翌日曜日は通常に生活した。しかし翌日「気持ちが悪い」と訴え芦川医院に通院。特に異常なし。	指導者は常に全体を見ることがあらためて意識するように注意したい。ひとりひとりの動きに目を配ることと徹底したい。
6	9月23日	S D	6	20:00	居室	職員が浴槽の外で、本児の足を洗っていたときに本児がバランスを崩して転倒し、棚に後頭部をぶつけてしまった。	後頭部にたんこぶができてしまったのですぐさま冷水で冷やした。	座らせて洗うなど安全に配慮した解除を行うことを徹底する。
7	9月28日	S R	6	不明	不明	夕方に職員が本児の耳かきをする際に、耳の奥に異物が入っているのを発見した。	翌日長谷川耳鼻科に通院して除去してもらった。異物は小石であった。	どのような状況で耳に入ってしまったのか本人に聞いても記憶がない。
8	10月27日	H M	5	14:55	玄関前	屋外遊びの最中に玄関前の側溝の蓋の網目につま先を引っかけてしまい転倒した。	ゲンタシン軟膏を塗布して様子を見ていたが園長からの指示で芦川医院に通院。消毒だけの対応で良いという指示をもらった。	サンダルつま先部分が引っかかったと思われる。屋外遊びの際の服装や靴などの安全性に職員が配慮する。
9	11月18日	Y R	9	13:00	サイクルスポーツセンター	行事でサイクルスポーツセンターに出かけた際に本児が自転車で転倒して鼻の下に口の中を切ってしまった。	センター内の医務室にて治療をお願いし、傷口の確認と消毒をもらった。	下り坂で前輪ブレーキを強くかけ過ぎて前転してしまったため正しい操作方法の指導を事前に行うように配慮する。
10	12月21日	S S	5	13:30	医務室	感染性胃腸炎に罹り医務室で静養していた時に、同じく医務室対応だった他児の薬を食べてしまったと他児から報告された。	富士医師会に電話で相談したところ薬の種類・量ともに問題はなとの返答をもらった。	薬の管理の徹底と隔離する部屋に薬を置かず保育士が管理すること。

11	1月16日	I H	16	13:00	中央公園	下校途中に高校の友人と中央公園の芝生でサッカーをして遊んでいたが、ボールを蹴ろうとしたときに軸足を滑らせて転倒。本人から連絡を受け職員が迎えに行き通院した。	迎えに行き、そのまま聖隷富士病院に通院した。左手首骨折。	
12	3月11日	HM	8	10:10	吉原小グラウンド	2時間目の休み時間に校庭の雲梯で遊んでいた際に掴み損ねて落下。養護教諭付き添いで芦川医院に通院した。	下唇下側と内側をそれぞれに3針縫合。	

②ヒヤリハット報告

1	4月25日	Y K	3	7:15	居室	朝食のため、居室玄関で他児を待っているときに非常通報装置の簿欄を押して非常ベルを鳴動させてしまった。	誤報であることを確認に全館に連絡。本児には注意をした。	何のためのものかを幼児にもわかるように説明をしていたが、再発防止に努める。
2	4月27日	U Y	9		グラウンド	スケーターで遊んでいたときに他の幼児（男児）が直径4cmほどの石を投げ、本児の顔面に当たった。	幸いにも唇の舌にかすり傷を負う程度で済んだが、男児には一歩間違えたら大事になることを伝え、注意した。	日頃から物を投げることをないように注意したい。
3	7月18日	S R	3	16:30	通院先病院の玄関前	通院した際に待ち時間が長く飽きてしまった本児を玄関の前で落ち着かせようとした。その際、隣地（約3m程度の段差の下）の犬を見つけ、いきなり走り出して塀によじ登ろうとして落下しかけた。	発達障害の疑いのある幼児で、非常に多動であるため注意していたが、あまりに突発的であったため未然に防ぐことが難しかった。	本児は多動性、衝動性が高い反面危機回避能力は低いので、付き添いの職員が十分気をつけること。
4	9月24日	S R	3	9:00	原田幼稚園園舎内	原田幼稚園登園の際に、来年度入園予定である本児の入園許可証を頂くために本児を連れて行った。引率した職員が幼稚園の主任教諭と話をしている僅かな隙に姿が見えなくなってしまった。	園舎内を捜したところ、1階の教室に入り込んで玩具で遊んでいるのを発見した。その後、園長に挨拶をしている時にもいなくなり、トイレに行っていた。	本児は多動性、衝動性が高い反面危機回避能力は低いので、付き添いの職員が十分気をつけること。
5	9月29日	S R	3	9:20	原田幼稚園付近	前述の入園許可証を頂いた帰りに駐車場まで手を繋いで歩いていたが、途中で職員の手をいきなりふりほどき、道路を横断して近所の民家の駐車場に走って行ってしまった。	本児はふざけて職員が追いかけて来るのを楽しんでいた様子だったが、大変危険な行動であったため厳重注意した。	本児は多動性、衝動性が高い反面危機回避能力は低いので、付き添いの職員が十分気をつけること。
6	12月10日	Y H	5	8:30	ひまわり園玄関前	原田幼稚園に登園するためにひまわり園の玄関前で幼児が並んでいた際に、送迎のために公用車を玄関脇に移動した。その時公用車の直前に本児が飛び出してしまった。	移動中の車には近づかないことを厳重注意。	運転者は周囲の安全に十分注意するとともに子どもたち全体に安全教育を徹底する。
7	12月19日	HM	9	17:15	ロゼシアター付近	友人のダンス発表会を観に行き、終了後に帰園しようとした際に日が暮れかかって暗くなってしまい、迷子になってしまった。	通りがかった人に事情を説明してもらい、職員が迎えに行った。	行き慣れた場所であっても時間帯によっては起こりうることで、状況によって送迎等も検討すること。
8	1月21日	A S	10	16:30	倉庫と外トイレ	下校中に拾ったというライターを隠し持ち、掃除用具の入った倉庫内と屋外トイレの中で他の小学2年生と共に新聞広告を燃やして遊んでいた。そのことを小2の男児が職員に報告したことで発覚。	幸いにも火災にいたるようなことはなく広告を燃やしただけで済んだが、職員よりパソコンで家屋火災の映像を見せ、危険性について意識付けを行った。	季節柄、日頃の生活において火災の危険性について他児も含め全体に注意を促していくこととする。

(資料14) 防災訓練実施報告

月 日	訓 練 内 容	参加児童数	参加職員数
4月7日	火災による避難訓練・消火訓練	66	11
5月6日	地震による避難訓練・消火訓練	81	7
6月17日	火災による避難訓練・消火訓練	81	7
7月7日	地震による避難訓練・消火訓練	65	7
8月2日	火災による避難訓練（夜間訓練）	78	11
9月1日	富士市総合防災訓練（雨天により地域防災訓練のみ参加） ・中学生男子…消防ポンプ訓練（芙蓉会正門前） ・中学生女子…応急手当訓練（緑が丘公会堂） ※小学校は引き取り訓練未実施	82	36
10月8日	火災による避難訓練・消火訓練	58	12
11月24日	社会福祉施設防災訓練	82	9
12月2日	火災による避難訓練・消火訓練（地域自主防災訓練） 中学生男子：消火訓練 中学生女子：応急訓練	85	11
1月6日	地震による避難訓練・消火訓練	84	11
2月9日	火災による避難訓練・消火訓練	66	11
3月2日	地震による避難訓練・消火訓練	48	7

(資料15) 研修報告

①外部団体研修等

期 日	研 修 内 容	会 場	人数
4月24日	指導員保母の会「こどもと職員」	岩倉学園	3
5月22日	指導員保母の会「心理士が実践する施設ケア」	春風寮	3
6月12日	県養新任職員研修会	シズウェル	3
6月19日	衛生・栄養管理講習会	ラ・ホール富士	2
7月10日	指導員保母の会「リラクゼーション」	すみれ寮	2
7月10日	児童心理士等研修会	あざれあ	1
7月26日	サインズ・オブ・セイフティ研修会	富士総合庁舎	2
8月28日	ふじのくに防災士研修会①	静岡県立大学	2
8月29日	ふじのくに防災士研修会②	静岡県立大学	2
8月30日	児童養護施設等事務職員研修会	シズウェル	1
9月3日	ふじのくに防災士研修会③	静岡県立大学	2
9月3日	吉原林間学園50周年記念研修会	静岡産業会館	1
9月4日	ふじのくに防災士研修会④	静岡県立大学	2
9月8日	静岡県乳児院協議会研修「より良い養育を目指して」	みぎわ園	1
9月10日	ふじのくに防災士研修会⑤	静岡県立大学	2
9月11日	ふじのくに防災士研修会⑥	静岡県立大学	2
9月11日	指導員保母の会「指保会担当施設長の話」	千代田寮	2
9月19日	新会計基準経理研修会	グランシップ	1
9月19日	社会的養護を担う児童福祉施設長研修会	灘尾ホール	1
9月20日	権利擁護研修会①	シズウェル	2
10月3日	指導員保母の会「社会的養護における種別間の連携について」	みぎわ園	2
10月23日	関東ブロック児童養護施設職員研修会（～10/24）	キャロット・ジャパン	3
10月16日	安全運転管理者講習	ふじさんメッセ	1
10月18日	権利擁護研修会②	シズウェル	2
10月30日	被虐待児直接支援職員等研修会（～10/31）	吉原林間学園	3
11月6日	リスクマネジメント研修会	富士宮市総合福祉会館	1
11月13日	指導員保母の会「子どもと遊び～子どもたち育て」	静岡恵明学園児童部	3
11月12日	調理技術研修会	フィランセ	1
11月15日	権利擁護研修会③	静岡市産業学交流センター	2
11月21日	子どもの虐待予防に関する支援技術研修会	静岡県産業経済会館	1
12月20日	権利擁護研修会④	シズウェル	2
1月12日	基礎スキル研修会	もくせい会館	1
1月15日	指導員保母の会「食育」	吉永まちづくりセンター	2
1月18日	児童養護施設心理士研修会	富士児童相談所	1
1月24日	権利擁護研修会⑤	シズウェル	2
1月29日	児童養護施設心理士研修会	静岡大学	1
2月7日	指導員保母の会「中堅職員の現任研修」	和光寮	3
2月12日	未成年後見人制度研修会	あざれあ	1
2月21日	県内保育士等養成校との意見交換会	シズウェル	1
2月20日	施設心理士等合同研修会（～2/23）	子どもの虹情報センター	1

②静岡県児童養護施設福祉研究会(福祉研) 課長が担当として出張

期 日	出 張 内 容	会 場	人数
5月29日	福祉研究会	シズウエル	1
7月17日	福祉研究会	シズウエル	1
10月29日	福祉研究会	シズウエル	1
11月10日	児童虐待防止パレード	シズウエル	7
12月18日	福祉研究会	シズウエル	1
1月23日	福祉研究会	シズウエル	1
2月26日	福祉研究会印刷作業	誠信少年少女の家	1
3月12日	指導員保母の会代表者会・福祉研究会	三島市社会福祉会館	1

③園内職員研修会

期 日	研 修 内 容	発表者・講師
5月10日	「コミュニケーションスキル研修」①	富士児相 中垣真通氏
6月14日	「コミュニケーションスキル研修」②	富士児相 中垣真通氏
7月12日	「コミュニケーションスキル研修」③	富士児相 中垣真通氏
9月24日	「コミュニケーションスキル研修」④	富士児相 中垣真通氏
10月25日	「コミュニケーションスキル研修」⑤	富士児相 中垣真通氏
11月15日	「県立子ども病院出張研修」(愛着について)	県立子ども病院 大石 聡氏
11月22日	「ひまわり園心理士との連携について」	斎藤心理士
2月28日	「県立子ども病院出張研修」(ケースカンファレンス)	県立子ども病院 大石 聡氏
3月8日	「新任職員の一年の振り返り」	赤池 望月 勝岡(新任保育士)

④園内新任職員研修

5月23日	「養育の基本」① 「就業規則」 「緊急時対応」 「接遇マナー」	種田養育課長
6月6日	「養育の基本」② 「児童福祉法について」 「ストレスチェック」	種田養育課長
7月17日	「性教育について」	持田主任指導員
9月6日	「半年を振り返って」	種田養育課長
10月12日	「セカンドステップについて」	斎藤心理士

⑤感染症予防対策委員会

実施日	毎月第2火曜日(8月を除く)
-----	----------------

(資料16) 実習生受入状況

①保育士実習

期 間	実 習 校	人数	日数	備 考
5月9日 ～ 5月28日	和泉短期大学	1	15	
5月23日 ～ 6月3日	富士常葉大学	2	12	
6月6日 ～ 6月18日	静岡県立大学短期大学部	2	12	
6月18日 ～ 6月30日	浜松学院大学	2	12	
6月18日 ～ 6月30日	浜松大学	1	12	
7月2日 ～ 7月14日	浜松大学	1	12	
7月19日 ～ 7月31日	浜松学院大学短期大学部	2	12	
8月1日 ～ 8月12日	富士常葉大学	2	11	
8月9日 ～ 8月21日	浜松学院大学	1	12	
8月16日 ～ 8月27日	鶴川女子短期大学	2	11	
8月17日 ～ 8月28日	鎌倉女子大学	1	11	
9月1日 ～ 9月12日	鎌倉女子大学	1	11	
9月1日 ～ 9月12日	浜松学院大学	1	12	
9月2日 ～ 9月13日	草苑保育専門学校	1	11	
10月4日 ～ 10月15日	常葉学園短期大学	2	11	
10月19日 ～ 10月30日	常葉学園短期大学	2	11	
11月5日 ～ 11月17日	横浜こども専門学校	1	12	
11月19日 ～ 11月30日	常葉学園短期大学	2	11	
2月1日 ～ 2月13日	日本児童教育専門学校	1	12	
2月15日 ～ 2月25日	静岡大学	1	10	
2月12日 ～ 2月24日	駒澤女子短大	1	12	
2月25日 ～ 3月8日	鶴見大学短期大学部	2	11	
合 計		32	256	

(資料17) 設備保守・安全点検

点検項目	業者名	点検年月日	備考
電気設備	関東電気保安協会	4月10日	年6回
		6月12日	
		8月7日	
		10月19日	
		12月12日	
		2月25日	
消防設備	サンコー防災(消防設備)	6月26日	年2回
		12月28日	
	富士消防用品商会(消火器)	5月29日	年2回
		11月20日	
消防立ち入り検査	富士市消防本部	3月7日	年1回
厨房リフト	大村リフトサービス(株)	4月3日	年1回
建築設備	王子不動産(株)	11月27日	年1回
特殊建物等定期検査	王子不動産(株)	なし	2年に1回
害虫駆除(厨房)	(株)大富士ダスキンターミック	5月24日	年2回
		12月7日	
害虫駆除(居室)	(株)大富士ダスキンターミック	6月5日	年1回
害虫駆除(集会室)	(株)大富士ダスキンターミック	12月14日	年1回
水質検査	静岡県生活化学検査センター	11月26日	年1回
貯水槽清掃	(株)富士クリーンサービス	3月16日	年1回

地域小規模児童養護施設ひろみ（ひまわり園加算事業）

事業概要報告

平成 24 年度、「ひろみ」は地域小規模児童養護施設の指定を受け(承認年月日:平成 24 年 4 月 1 日)、本体施設の支援のもと、24 時間体制で入所児童の安全・安心の確保に努めました。

平成 24 年度は、小学生 1 名、中学生 3 名、高校生 2 名の計 6 名(女子)でのスタートとなりました。

ひろみでは地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別的な関わりを持てるように努めました。

子どもが日常生活において主体的に考え、取り組むことが出来るように、児童会である「キンモクセイの会」と、子どもと職員の話し合いの場である「ひろみ会議」月 1 回実施してきました。行事についても、この話し合いでの意見をもとに計画、実行致しました。

また地域との関係を大切にすることを心がけました。地域活動への主体的な参加をすると共に、日常の中での地域住民の方々との交流を大切することを意識しました。防災面においても、地域の防災訓練は児童と共に主体的に参加し、近隣住民の方々と、災害時の連携について話し合うなど、お互いに協力し合える関係の構築に努めました。

また地域の方からはたくさんの野菜やお菓子、衣類などを頂いたり、子ども達とも自然な関わりを持って下さるなど様々な面で支えられて生活をしてきました。逆にひろみの子ども達や職員も近隣の草取りやゴミ出しを手伝ったりと、地域の一員として生活することを大切にしました。



重要事項報告

平成 24 年度は、高校 3 年生の女子が介護福祉関係の専門学校に受験し、合格することが出来ました。退所して通学するには経済的に困難な状況でありましたが、児童相談所から



ひろみへの入所措置を延長して頂き、学費につきましては、法人の植松茂子奨学基金の助成を承認頂いたことで、実現することが出来ました。

環境整備の面では、ひろみ付近に下水道が整備されたことを受けて、宅内下水道切替工事を実施しました。これに以前から悩まされていた慢性的な管詰まりの問題が解消されました。

施設設備

取得

・ 宅内下水道切替工事 304,500円



基本目標1

家族と離れて生活する子どもたちが、安心・安全に生活できる環境を保障し、権利擁護意識の向上に努めます。

ひろみの1年間の目標を「責任をもって生活しよう」と定め、子どもたちもそれぞれ個人の努力目標を設定し、その目標に沿った支援に努めました。また建物等、安全上、修繕が必要な箇所については、迅速に対応するよう努めました。

基本目標2

生活を営む主役は子どもであり、日常生活において主体的に考え、取り組むことができるように支援します。(資料2, 3, 4.)

月1回の「キンモクセイの会」(児童会)「ひろみ会議」の充実を図り、個々の意思を尊重すると共に、自らの意見や行動でひろみの生活を改善、向上することを促しました。行事については子どもたちの希望を取り入れ、実施致しました。



【キンモクセイの会】



【Jリーグ観戦の行事】

基本目標3

子どもたちの地域社会活動を支援し、集団の中での個の自立と技能向上を目指します。また、地域との関わりを持ち、地域住民としての自覚が育つように支援します。(資料5)

日常生活の中で近隣住民との関わりを大切にし、良好な関係作りに努めました。また地域活動(防災訓練、運動会、子ども会、学校行事)等への主体的参加に努めました。



【地域防災訓練での消火訓練】

基本目標4

社会的自立を目標とする子どもたちの自立支援を実施します。(資料6)

高校生はアルバイトやボランティアを通して社会的マナー・礼儀等を学ぶ機会を持ち、中学生に対しては高校進学へ向けた支援を行いました。高校生はスキルアップスクールを運営しているメディアベースの講習に参加し、自立する為に必要な知識や社会人としてのマナーなどを学びました。また、卒園生に対しては定期的に連絡を取り、生活状況を把握に努めました。

基本目標5

家族再統合のための保護者との関係強化および児童相談所、学校、施設など社会的養護の連携に努めます。(資料7)

家族との関わりが持てる状況の児童につきましては、児童相談所と連携し、面会を実施するなどの家庭支援を行いました。

基本目標6

子どもの健康に配慮すると共に、環境の整備、防災教育を推進し、安全な生活を支援します。
(資料8, 9)

子どもの健康に配慮し年1回の健康診断、インフルエンザの予防接種を実施しました。防災訓練を月1回実施し、児童ならびに職員の防災意識の向上に努めました。また非常時に必要な物品を確認し、不足している物を揃えました。

基本目標7

職員の処遇技術の向上を目指した研修の充実と主体的取り組みの強化を図ります。また実習生の受入を検討して児童養護施設の理解を広げ、後進の指導に努力します。(資料10)

研修への積極的な参加が出来たとは言えない状況でしたので課題が残りました。また実習生の受け入れに関しては、24年度は実施出来ませんでした。今後の受け入れについて検討が必要です。

資料1 平成24年度 月別児童在所状況 (初日在籍)

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
実人員	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	6

資料2 ひろみ会議（職員と児童の話し合い）の実施状況

期 日	主 な 内 容	
4月24日	児童会報告	ガス代の節約・行事内容について
5月29日	児童会報告	下水道工事の対応・児童会の見直しについて
6月26日	児童会報告	夏休みの行事について・公共性、協調性について
7月31日	児童会報告	夏休みの生活、目標の確認・言葉使いについて
8月27日	児童会報告	夏休みの振り返りについて
9月25日	児童会報告	万引きの件について・ルールの確認
10月30日	児童会報告	生活、問題の振り返りについて
11月27日	児童会報告	ベランダ掃除・お正月の夕食について
12月27日	児童会報告	一年の振り返りについて
1月1日	今年目標について お年玉配布	
2月26日	児童会報告	保育士お別れ会・部屋替えについて
3月30日	児童会報告	今年度の振り返り・新生活の目標について

資料3 児童会「キンモクセイの会」の実施状況

期 日	主 な 内 容	
4月28日	生活の振り返り	お風呂掃除・GWのテレビ時間について
5月26日	生活の振り返り	映画行事について
6月23日	生活の振り返り	夏休みの生活・児童会の意味について
7月28日	生活の振り返り	夏休みの調理実習・個々の良いところについて
8月25日	生活の振り返り	夏休みの反省について
9月22日	生活の振り返り	問題の振り返り・ルールの見直しについて
10月27日	生活の振り返り	地域の方への挨拶・言葉使いについて
11月24日	生活の振り返り	ベランダの掃除方法・風呂の順番について
12月22日	1年の振り返り	大掃除の分担・冬休みの生活について
1月26日	生活の振り返り	職員への態度・生活の問題点について
2月23日	生活の振り返り	部屋替え・お風呂の入浴時間について
3月26日	今年度の振り返り	テレビの視聴時間について

資料4 行事報告

① 静岡県児童養護施設協議会行事

年月日	行事内容	参加児童数	引率職員数
5月12日	第30回児童文化奨励絵画展表彰式	3	1
1月20日	第35回静岡県児童福祉施設冬季球技大会	6	3

② 施設内行事

年月日	行事内容	参加児童数	引率職員数
7月24日	富士登山（ひまわり園行事に参加）	1	1
8月3日	カラオケ	3	1
8月3日	富士急ハイランド	3	1
8月9日	富士市民プール	3	1
8月18日	芙蓉会夏祭り	6	3
8月23日	外食と花火（サイゼリア、富士緑地公園）	6	3
10月21日	第31回富士市民福祉まつり（中央公園）	6	2
12月25日	ひまわり園クリスマス会	6	3
1月2日	初詣（三日市浅間神社）	6	1
1月4日	法人新年挨拶会、外食（みぎわ園、ロゼシアター）	6	3
1月14日	映画（富士宮イオン）	6	1
3月20日	ひまわり園 卒業・旅立ちを祝う会	6	3
3月30日	Jリーグ観戦（日本平スタジアム）	6	3

資料5 学校・地域との連携について

①青葉台小学校

4月19日	PTA 総会・懇談会	7月27日	個人面談
4月27日	家庭訪問	9月1日	防災引き取り訓練
5月12日	PTA 奉仕作業参加	9月13日	授業参観
6月2日	運動会 P T A種目に参加	9月25日	P T A奉仕作業に参加
6月17日	授業参観・修学旅行説明会	10月3日	5,6年保護者懇談会に出席
7月12日	PTA 給食試食会に参加	1月18日	二中入学説明会に出席

②吉原第二中学校

4月14日	RTA 総会・参観・懇談会に出席	9月2日	奉仕作業に参加
4月20日	家庭訪問 (3名)	9月15日	運動会 P T A 種目に参加
5月21日	給食試食会に参加	10月12日	文化発表会
6月8日	授業参観・3年進路相談に出席	10月16日	三者面談
6月24日	PTA 奉仕作業に参加	11月2日	3年進路説明会に出席
7月19日	授業参観に参加	12月14日	三者面談

③地域行事

8月6日	青葉台地区夏祭りに参加	10月21日	福祉まつり ステージ部門に参加
8月25日	茶の木平3組バーベキューに参加	11月11日	青葉台地区文化祭に参加
8月27日 ～9月3日	ごみ収集所の掃除当番 ゴミ出し日に清掃	12月2日	地域防災訓練に参加 3組 非難訓練 消火訓練を体験
9月1日	総合防災訓練に参加	3月24日	茶ノ木平3組会合に出席
10月14日	青葉台地区運動会に参加		

④子ども会活動

4月22日	1年生を迎える会	7月22日	お神輿作りに参加
5月19日	ドッチボール大会練習	8月4日	お神輿練り歩きに参加
5月26日	ドッチボール大会練習	10月14日	青葉台地区運動会
6月24日	ドッチボール大会	10月20日	P T A古紙回収
7月25～ 8月26日	ラジオ体操	11月11日	青葉台地区文化祭
		12月1日	クリスマス会に参加

資料6 アフターケア実施報告

年月日	年齢	性別	退所年月日	内 容
5月29日	21	女	H21.3.31	電話連絡 生活状況の確認
5月31日	20	男	H21.4.21	電話連絡 生活に関する相談
6月8日	21	女	H21.3.31	電話連絡 生活状況の確認
10月20日	25	男	H18.3.9	電話連絡 生活・家族状況の確認
12月2日	20	男	H21.4.21	電話連絡 生活状況の確認
12月28日	20	男	H21.4.21	電話連絡 生活状況の確認
3月20日	21	女	H21.3.31	電話連絡 生活状況の確認

資料7 家庭支援、児童相談所との連携、心理的対応等について

年月日	対象児童	内 容
4月24日	高3・中1姉妹	富士児童相談所 児童福祉司と面接 ひろみ訪問
4月27日	高1女子	東部児童相談所 児童福祉司と面接
5月5日	中3・中1姉妹	実母と面会
6月1日	高1女子	東部児童相談所 児童福祉司と面接
6月24日	中3・中1姉妹	実母と面会
8月6日	高1女子	東部児童相談所 児童福祉司と面接
8月12日	中3・中1姉妹	実母と1日外出
10月1日	中3・中1姉妹	東部児童相談所 児童福祉司と面接
10月8日	中3・中1姉妹	実母と面会
12月27日	高1女子	東部児童相談所 児童福祉司と面接
1月2日	中3・中1姉妹	実母・実姉と1日外出
2月6日	高3・中1姉妹	富士児童相談所児童福祉司とひろみ職員が実母と面接
2月18日	全児童	東部児童相談所との連絡会
3月4日	高1女子	東部児童相談所 児童福祉司と面接
3月18日	高3女子	富士児童相談所 児童福祉司 卒業のお祝いで訪問

資料8 児童の健康管理

①受診状況（治療・検査）

医療機関 \ 月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
青葉クリニック	1					1	1		1		1		5
善徳クリニック												2	2
前田整形							1	3	1			1	6
加藤眼科			1	1									2
富士市立中央病院									1				1
コスモ歯科						1							1
神谷歯科												2	2
合計	1	0	1	1	0	2	2	3	3	0	1	5	19

② 健康診断

10月12日 源太坂クリニックにて全児童（10名）実施。

③ 予防接種

インフルエンザ予防接種	1回目 6名 2回目 3名
日本脳炎	第1期 1名 第2期 1名
MR混合	第2期 1名 第3期 1名
子宮頸がん予防接種	1回目 2名 2回目 2名

④ その他

○害虫駆除

8月3日 全児童が外出する行事に合わせて実施。

全部屋でバルサンを焚く。

○感染症予防対策

ひまわり園感染症対策委員会に1名出席。

資料9 防災訓練報告

年月日	訓練内容						参加人数	
	避難訓練	夜間	火災	地震	消火訓練	自主点検	児童	職員
4月4日	○		○		○	○	6	1
5月18日	○			○	○	○	6	1
6月10日	○			○	○	○	6	1
7月17日	○			○	○	○	6	1
8月5日	○			○	○	○	6	1
9月1日	総合防災訓練				○	○	6	3
10月7日	○		○		○	○	6	1
11月4日	○			○	○	○	6	2
12月2日	地域防災訓練				○	○	6	1
1月21日	○			○	○	○	6	1
2月3日	○		○		○	○	6	1
3月3日	○			○	○	○	6	1

※10月10日消火器点検を実施

資料10 外部研修報告

年月日	主催者	研修内容	参加人数
6月19日	富士労働基準協会	衛生管理研修	1
9月11日	静岡県児童養護施設協議会 指導員保母の会	指保会担当施設長の話	1
11月10日	児童虐待防止静岡の集い 実行委員会	子どもの笑顔のために ～今私達にできること～	1
1月15日	静岡県児童養護施設協議会 指導員保母の会	児童養護施設の食事	1

資料11 事故・ヒヤリハット報告

・平成24年度はありませんでした。

資料12 苦情・要望報告

日付	内容	対応
2月26日 ひろみ会議 にて	入所児童（中学3年女子）より部屋を変えたい。部屋のパートナーを変えてほしい。	高校生と中学生、専門学校生では生活のリズム（消灯や学習時間など）が異なるといった理由から、現在の部屋の構成にしていることを説明し、納得してもらった上で、部屋のメンバーの変更は行いませんでした。※部屋のメンバーと喧嘩をしている状態で、そういった事を訴えていたこともあり、関係が良くなると訴えはなくなりました。

恩賜記念みどり園

事業概要報告

平成24年度は定員30名で事業を実施する事ができました。年度当初の在籍数が13名ということから、積極的に緊急一時保護や入所依頼を受けて参りました。平成24年度中の入所は23件、一時保護は20件で、内7名が虐待のケースでしたが、年間の入所率は平均で67%という結果になりました。



平成25年度は暫定定員での運営となりますが、県内4施設中3施設が暫定定員となることもあり、措置費による運営施設の経営の難しさや、厚生労働省が推進している「家庭的養護」に関する施策と、現状との差が浮き出てきているとも考えられ、「家庭的養護推進計画」作成の折には、県内の乳幼児定員の見直しが必要であるという認識が生じてきました。

基本目標や実施目標に掲げた、愛着形成の促進による「よりよい関係作り」に関する取り組みは、ユニット制による養育や、0歳児小規模グループケアの実施、日中一人の養育者がみる児童数を少しでも減らすという、養育単位の小規模化への取り組みや、職員給食導入により、大人と一緒に食事をする等の取組を通して子ども達の心の安定に努めました。

平成24年度の16名の退所児童中8名の児童を家庭への復帰に繋げられ、家庭復帰率は50%と前年よりも増加しましたが、里親への委託は19%弱と昨年を下回る結果となりました。

乳幼児の緊急一時保護施設の役割を果たしている乳児院として、感染症対策の機能強化を計るべく、電解水生成システムの導入や、居室床面の抗菌コート剤塗布等の対策を講じましたが、システムを上手く使いこなすことが出来ず、10月・11月マイコプラズマ肺炎、3月にロタウイルスによる感染性胃腸炎、RSウイルスの園内への侵入を許してしまいました。このことから今後の感染症対策の見直しや、電解水の使用法の検討による新たな感染症対策の構築という課題を残しました。

平成24年度受診予定であった第三者評価の受診に関しては、静岡県内の評価機関の登録が遅れたため、平成25年度に受診を延期しましたが、園内では第三者評価準備委員会を設置し、4月より受診の準備を進めてまいりました。毎月1回会議を行い、自主評価を行うことで、園内の現状の把握と、職員間の認識の格差是正や、改善点の提案等、次年度に向けた対応を行い、より子ども達主導の養育を目指しての取組や、課題の検討をする機会を持つことができました。

重要事項報告

(1) 感染症について

平成24年10月12日から10月20日にかけてマイコプラズマ肺炎に3歳2カ月の男児1名が感染し、10月12日から10月15日迄富士市立中央病院に入院いたしました。感染症対策を実施して経過通院を行い、10月20日には完治したと思われましたが、11月30日にマイコプラズマ肺炎が再発し、12月10日まで経過観察の通院をしました。

平成25年3月6日にはロタウイルス性感染性胃腸炎に1歳7カ月の男児1名が感染、隔離等の感染症対策を実施し、経過観察中に、2歳4カ月の女児1名、また、3月11日に足が腫れた1歳10カ月の女児が、富士市立中央病院に入院し、その後の診察で、ロタウイルス感染による浮腫であると診断され、ロタウイルスによる感染性胃腸炎の感染者は3名となります。

ロタウイルスの感染症対策を講じていた3月11日には、7カ月の男児1名がRSウイルスへの感染と診断、その後0歳児を中心に延べ7名が感染しております。3月17日に2カ月の女児に同様の症状が出たため通院し、生後2カ月ということもあり、大事をとって富士市立中央病院に8日間入院しております。入院した2カ月の女児は、安全隔離の期間中であったことから、感染症に関する予防対策や、隔離の方法や、拡大感染防止対策等の見直しを継続して実施していきたいと思っております。

(2) 事故の報告等について

①事故の報告について（総事故数 68件 通院児童 0名）

平成24年度は68件の事故が報告されております。ベッドからの転落や転倒、衝突、挟み込み等の一般事故が22件、児童間の噛みつきや、引っ掻き等の事故は44件でした。いずれも大事には至らず、通院をしないですむ程度の軽傷でした。

また、配薬忘れ1件、薬の保管忘れが1件ありましたので、職員への注意喚起を行い、繰り返すことのないよう徹底を計りました。

②インシデントレポート（ヒヤリハット） 総数 8件

インシデントは8件ありました。職員の危機管理への認識不足が3件、投薬の重複が3件、危険物の拾得が2件でした。

(3) 苦情・要望受付 処遇に関する苦情 1件

緊急一時保護でお預かりした5カ月のお子さんのオムツかぶれを悪化させてしまったことで、職員の業務に対する姿勢や、個別の対応について職員に徹底できていないのではないかというご指摘を受けました。関係する職員への指導を行うと共に、職員会議時に子どもへの対応についての確認を行い、ユニット会議時に関わり方や、対応についての見直しを検討する機会を設け、職員間での統一を図りました。

施設整備等

(1) 固定資産計上取得物品等

- | | |
|---------------------|-------------|
| ① 公用車 (ホビオ) | 1,442,030 円 |
| ② ナビゲーションシステム(ホビオ用) | 115,500 円 |

(2) 固定資産廃棄・移管物品等

- | | |
|-------------------|-----------|
| ① 生ゴミ処理機 | 1 円(残存価格) |
| ② 公用車ムーブ(みぎわ園に移管) | 1 円(残存価格) |

(3) その他の取得物品

- | | |
|----------------------|-------|
| ① 掃除機 | 3 台 |
| ② 会議用椅子 | 4 脚 |
| ③ 会議室机 | 2 脚 |
| ④ ミシン | 1 台 |
| ⑤ 加湿器 | 10 台 |
| ⑥ 洗濯機 | 1 台 |
| ⑦ ワイヤレスマイクスタンド・チューナー | 各 1 台 |
| ⑧ ツインバーナー(防災用) | 1 台 |

(4) 修繕工事等

- | | |
|------------------------------|-----------|
| ① 機械室照明器具補修 | 39,900 円 |
| ② 換気扇エレメント取り換え補修 | 97,650 円 |
| ③ 給湯ポンプ交換補修 | 26,250 円 |
| ④ 1 階テラス屋根取替補修 | 488,250 円 |
| ⑤ 1 階南側サンデッキ人工芝張替補修 | 204,750 円 |
| ⑥ 1 階ナースプール手指消毒器補修 | 33,757 円 |
| ⑦ 1 階 0 歳児室テレビ取り付け工事 | 15,750 円 |
| ⑧ 1 階床面保護プラチナプレミアムコート施工第 1 弾 | 985,635 円 |
| ⑨ 1 階床面保護プラチナプレミアムコート施工第 2 弾 | 843,412 円 |
| ⑩ 1 階スピーカー補修 | 21,000 円 |
| ⑪ 1 階テレビ配線補修 | 73,500 円 |
| ⑫ 1 階トイレ補修 | 87,150 円 |
| ⑬ 2 階遊戯室ベランダ雨樋補修 | 252,000 円 |
| ⑭ 2 階遊戯室ベランダ人工芝張替 | 546,000 円 |
| ⑮ キュウビクルフェンス基礎工事 | 220,500 円 |
| ⑯ 電解水設置工事(洗濯室・厨房) | 819,000 円 |
| ⑰ 電解水設置追加工事(オムツ交換室・子どもトイレ) | 241,000 円 |
| ⑱ ボイラー補修 | 59,850 円 |
| ⑲ セコム電気錠・インターホン取り換え補修 | 268,590 円 |

設整備等記録写真



1階食堂テラス屋根取替補修



プラチナプレミアムコート 塗布前 → 塗布後



電解水生成システム：本体



電解水取り入れ工事後の洗濯室



購入車輛 ホンダホビオ



サンデッキ人工芝張替

基本目標1

乳幼児の愛着形成を重視し、よりよい関係作りへの取り組みを心がけ、健康に留意し、心身の発達支援を行う

平成24年度は小規模グループケアの対象を脳の発達が一番顕著とされている0歳児に変更し、対象児を4～6名と設定し小規模グループケアを実施いたしました。

しかし、平成24年度は0歳児の入所が大変多く、一時期は0歳児が12名となり、小規模ユニットケアの継続が困難な状況になることもありましたが、小集団による養育を主軸に、ユニット内での分散養育や、個別養育を通じて既存のユニットでも養育単位の小規模化を主眼とした養育を実施しました。

また、児童相談所の小児精神科医の診察や臨床心理士の発達検査の結果を基に、発達に関するカンファレンスを定期的を実施し、子ども達への支援向上の機会を設けました。

さらに、発達臨床心理士の大野木嗣子先生を講師にお招きする研修の企画を静岡県乳児院協議会に提案させていただき、平成24年9月8日に大野木先生による養育研修会を、みぎわ園地域交流室で県内の乳児院関係者24名を集めて開催し、午前中は大野木先生による座学、午後はロールプレイを取り入れた養育に関する実技指導を受けることができました。

また、マイコプラズマ肺炎、ロタウイルスによる感染性胃腸炎やRSウイルス等の感染症が入ったことで、常に最悪の状況を想定しながら対処するように職員間での意識の徹底を呼びかけましたが、安全隔離をしていたはずの2カ月児がRSウイルスに感染したことは、当園の感染症対策の重点箇所に感染症が侵入していることから、感染症対策について、安全隔離の方法等の見直しや、新たな対策の構築という課題が残りました。

その他にも緊急一時保護を行った女児のオムツかぶれを悪化させたという保護者から指摘もあり、日常の養育についての検証や見直しが急務となり、指導職を中心に対策についての会議を実施しました。

園内の環境改善としては、電解水生成システムを導入し、洗濯や清掃システム、また、感染症への対策を視野にいたし、「電解水の活用」について外部講師を招き、今後のシステム活用の推進を計るための園内研修会を実施しました。

1. 人工呼吸器「118救急車を呼ぶ前に」の取り扱い講習会を実施しました。
2. 「電解水の効用と活用について」の研修会を実施しました。

基本目標2

乳幼児の権利擁護について職員に徹底し、より一層充実した支援を心掛ける

全国乳児福祉協議会の「倫理綱領」や、「より適切なかかわりをするためのチェックポイント」を使用して施設内の処遇の見直しを実施しました。時間に追われたり、子ども

もの要求が一番出やすく、子どもへの権利侵害が起こりやすい食事時間への対応として、昼食時間に職員給食を開始し、管理職をはじめ、出勤している全職員が子ども達と一緒に食事をとることで、子ども達の要求に対応する人手を確保し、職員に余裕がない状況の克服と、職員の感情が直接子どもに伝わってしまうことが無いように内部牽制することで、子ども達が安心して食事が取れるように配慮しました。

平成 23 年度から継続している、子ども達の養育や、プログラムについて「必ずしなければならないこと」「やってはいけないこと」「配慮しなければならないこと」の見直しを継続して実施しました。

実施目標に掲げた第三者評価の受審は、平成 24 年 9 月末まで静岡県内の評価機関の登録がなかったため、平成 25 年度に受審を延期しましたが、第三者評価・準備委員会を設置し毎月委員会を開催し、受審のための準備と自主評価の作業を行い、子どもの達への養育の現状の再評価や、園内の管理体制等の検証を行うことができました。

子ども達への権利侵害への検証や、園内での養育に関する意識の統一や、権利擁護に関する取り組みについては、今後も継続課題として実施していきます。

基本目標3

児童の健康に関する処遇の見直しを行い、感染症等に対する取り組みの強化を行う

季節性インフルエンザの予防接種は接種可能な 6 ヶ月以上の入所児童全員に実施しました。職員も 25 名の職員が接種しました。

また、平成 23 年度より、ヘモフィルス・インフルエンザ B 型による細菌性髄膜炎や咽頭蓋炎・肺炎等を予防するヒブワクチンを延べ 17 名の乳幼児に、肺炎球菌による細菌性髄膜炎・菌血症・副鼻腔炎・中耳炎等を予防する小児肺炎球菌ワクチンも、を延べ 17 名の乳幼児に接種することができました。

感染症動向調査を定期的に確認し、富士市の感染症の発生状況の情報収集を行っておりましたが、10 月～11 月にかけてマイコプラズマ肺炎に延べ 2 名の児童が感染し、平成 25 年 3 月にはロタウィルス性感染性胃腸炎に 3 名、RS ウィルスへの感染 7 名と感染症の園内侵入を許し、感染症で 3 名の児童が入院しました。中でもロタウィルス感染の女児は、原因不明の浮腫で入院することになりましたが、入院後にロタウィルス感染が分かり、肝機能の数値が正常値になるまでと、17 日間も入院することになりました。マイコプラズマ肺炎は完治してから約 1 カ月後に 2 度にわたって発症していることや、RS ウィルスに関しては 0 歳児を中心に感染が拡大し、感染症対策の要でもある安全隔離中の 2 カ月の女児が感染してしまうという事態が起こり、隔離等の感染予防対策の難しさを痛感しました。感染症に関する予防対策や、安全隔離の方法や、拡大感染防止対策等の見直しを継続課題として実施していきます。

資料1 平成24年度入所実績表

(1)平成24年度入所実績表

定員30名

区分 月別	実人員				初日 充足率	一時保 護	途中入 退所	総計	総充 足率 %
	性別 男子	女子	計	初日在籍 延べ数	%	延人数	延人数		
平成24年 4月	9	4	13	390	43%	57	0	447	50%
5月	9	5	14	434	47%	20	22	476	51%
6月	9	5	14	420	47%	18	12	450	50%
7月	10	5	15	465	50%	39	24	528	57%
8月	12	6	18	558	60%	15	0	573	62%
9月	12	6	18	540	60%	31	0	571	63%
10月	12	6	18	558	60%	90	-10	638	69%
11月	14	5	19	570	63%	86	27	683	76%
12月	18	5	23	713	77%	42	-7	748	80%
平成25年 1月	17	5	22	682	73%	11	7	700	75%
2月	16	8	24	672	80%	24	17	713	85%
3月	16	9	25	775	83%	0	-4	771	83%
計	154	69	223	6,865		433	88	7,298	67%

(注) 表中の充足率は暫定定員ではなく、定員30名で計算したものです。

(注) 表中の実人員数は、初日在籍の乳児の数

(注) 表中の延人数は、月の途中で入退所した乳児の数、及び一時保護乳児数を含む

(注) 表中の延人数は、月の途中で入退所した乳児の数、及び一時保護乳児数を含む

暫定定員算式 入所児童のみ $8,591 \div 30.4 \text{日} \div 12 \text{月} \times 1.11 (90\%) = 20.89$

一時保護含む $8,971 \div 30.4 \text{日} \div 12 \text{月} \times 1.11 (90\%) = 22.21$

(2) 平成24年度子育て短期支援事業（ショートステイ）利用状況

年 齢	富 士 市		沼 津 市	
	利用人数	利用日数	利用人数	利用日数
2歳未満	1人	6日	0人	0日
2歳以上	1人	4日	0人	0日
合 計	2人	10日	0人	0日
母 親	0人	0日	—	—

資料2 平成24年度疾病科別受診状況及び予防接種、健康診断、事故記録等

(1) 通院及び予防接種・健康診断の記録

① 通院児童数 642名

② 健康診断 70名

(内訳) 3歳児健診 2名 ・ 1～1歳半健診 4名
6～10カ月健診 4名 ・ 3～4カ月健診 8名
1カ月健診 8名 ・ 歯科検診 23名
入所時健診 4名(施設実施)
退所時健診 17名

③ 予防接種 127名

(内訳) ポリオ 12名 ・ MRワクチン 5名 ・ BCG 9名
日本脳炎 4名 ・ 三種混合1期～3期+追加免疫 19名
四種混合1期～3期 4名 ・ インフルエンザ 40名
ヒブワクチン 17名 ・ 小児肺炎球菌ワクチン 17名

④ 入院児童数 6名 ・ 延べ入院日数 43日

(内訳) マイコプラズマ肺炎1名 3日入院 ・ 風邪 1名 6日入院
頸部リンパ節炎1名 5日入院 ・ 肺炎 1名 4日入院
浮腫(ロタウイルス感染)1名 17日入院
RSウイルス感染 1名 8日入院

(2) 定期健康診断

①入所児童定期健康診断

内科検診(年2回) : 嘱託医 : 飯泉哲哉医師

1回目 : 平成24年9月19日、2回目 : 平成25年3月5日

歯科検診(年1回) : 片岡歯科医院 : 片岡俊夫医師

実施日 : 平成25年3月26日

②職員定期健康診断(新富士病院)

1回目 : 平成24年9月4日・9月14日・9月20日

2回目 : 平成25年2月5日・2月7日・2月15日

(3) 感染症の記録

①マイコプラズマ肺炎

感染者数 : 2名 (児童延べ2名・年齢: 3歳2ヶ月: 1名の児童が再感染)

感染確認 : I期: 平成24年10月12日～平成24年10月20日

II期: 平成24年11月30日～平成24年12月10日

入院期間 : 平成24年10月12日～平成24年10月15日 ※1名入院

拡大感染防止対策施工期間

I期: 平成24年10月12日～平成24年11月20日

II期: 平成24年11月30日～平成24年12月31日

②ロタウィルス性感染性胃腸炎

感染者数 : 3名 (児童3名 年齢: 1歳7カ月～2歳4カ月)

感染確認 : 平成25年 3月 6日～平成25年 3月28日 (入院治療終了)

入院期間 : 平成25年 3月11日～平成25年 3月28日 ※1名入院

感染性胃腸炎対策施工期間: 平成25年 3月6日～平成25年 4月 8日

③RS ウィルス感染 (症状等: 上気道炎～細気管支炎及び肺炎)

感染者数 : 7名 (児童7名 年齢: 2ヶ月～1歳8カ月: 6名が0歳児)

感染確認 : 平成25年 3月11日～平成25年 3月25日 (治療終了)

入院期間 : 平成25年 3月17日～平成25年 3月25日 ※1名入院

拡大感染防止対策施工期間: 平成25年 3月11日～平成25年 4月 8日

(4) 事故記録等

①事故の記録 総事故数 68件 (対象児童68名) 通院児童 0名

(内訳) 転落: ベッド2、その他2	計4件: 通院0件
挟み込み: 扉2、	計2件: 通院0件
転倒・衝突等: 他児1、扉等4、躓き4、その他3	計12件: 通院0件
裂傷・創傷等:	計0件: 通院0件
誤飲: 誤授乳	計0件: 通院0件
誤食: 離乳期関係0、アレルギー関係2	計2件: 通院0件
誤投薬等: 誤投薬0 配薬忘れ1 薬の保管忘れ1	計2件: 通院0件
その他: 深爪1、鼻にコーンが詰まる1、	計2件: 通院0件
児童間: 噛みつき40件、引っ掻く3件、つねられる1件	計68件

②インシデントレポート (ヒヤリハット) 総数 8件

(内訳) 危機管理への認識不足3件: 投薬等薬品管理3件: 危険物の拾得2件

資料3 平成24年度 園外保育実施実績

平成24年度は、0歳児の入所が多く、0歳児の養育に人手を要し、年長児を対象としたバスでの園外保育には1回しか行けませんでした。養育者と担当児童が1対1で、いちご狩りやお買い物の体験を通して1日を満喫してきました。

園内の生活でも養育担当者と個別に接する機会や、小グループによる行動を奨励し、園庭の芝生や、近隣への散歩等を通して社会性の発達を促進する努力を行いました。

(1)園外保育の実施状況

園外保育（遠足）

平成24年10月11日 アピタでお買い物

平成25年 2月22日 いちご狩り、うみゃーな、富士宮浅間大社

(2)誕生会・お楽しみ会等

- ① 誕生日…子どもの誕生日毎に担当養育者と1対1でお祝いをしました。
- ② お楽しみ会（月1回）…お楽しみ会の時に、皆で誕生日のお祝いをしました。
- ③ 七五三…神社へのお参りと記念写真を撮影しました。
- ④ お食い初め（子ども達の月齢に合わせて随時）
- ⑤ 食育（随時）



クリスマスはみぎわ園の皆さんと H24.12.21



食育をかねて園庭ではメロンやカボチャの栽培を行いました。

資料4 平成24年度 お楽しみ会献立及び、年間給食数 (単位：人)

			年間延人員、給食数	
月	月 日	行事食献立	延在籍児数	延食数
4	4月21日	鮭おにぎり、筍おにぎり、から揚げ、ウインナー、卵焼き、菜の花サラダ、いちご、麦茶	447	1340
5	5月15日	サトウイッチ、ミートボール、ミニトマト、枝豆入りポテトサラダ、ミネゼリー、野菜ジュース	476	1424
6	6月4日	おにぎり、サトウイッチ、から揚げ、ウインナー、ポテトフライ、卵焼き、レタス、ミニトマト、コンスープ、麦茶	450	1339
7	7月19日	お好み焼き、肉団子とうずらの卵の串刺し、ポテトフライ、みそ汁、麦茶	528	1576
8	8月9日	流しそうめん、から揚げ、ウインナー、卵焼き、ブロッコリー、きゅうり、リンゴジュース	573	1649
9	9月13日	焼きそば、ジャコバター、ホットドック、スティックキュウリ、チョコバナナ、麦茶	571	1662
10	10月11日	園外保育	638	1832
11	11月15日	リラックマのおいなりさん、から揚げ、卵焼き、ミニトマト、ブロッコリー、スティック人参、すまし汁、ミネゼリー、麦茶	683	1977
12	12月21日	カタ・トカイのおにぎり、から揚げ、ポテトフライ、ポパイ、ミニトマト、シチュー、ケーキ、麦茶	748	2129
1	1月10日	手巻き寿司(きゅうり、たくあん、まぐろ、ツマヨ) 茶碗蒸し、すまし汁、三色団子、麦茶	700	2000
2	2月2日	恵方巻き、から揚げ、フライドさつま、みそ汁、いちご、麦茶	713	2013
	2月22日	園外保育		
3	中止	※感染性胃腸炎対策実施中のため	771	2112
年間延べ人数・延べ給食数			7,298	21,053



リラックマのおいなりさん H24. 11. 15



クリスマス献立 H24. 12. 21

資料5平成24年度 防災対策、避難訓練等の実施状況

(1)地震想定避難訓練（夜間想定訓練1回）

	実施日	開始時間	参加人員	備考
1	平成24年 4月30日（月）	9:30～	児童13名・職員5名	
2	平成24年6月30日（土）	8:55～	児童13名・職員2名+7名(オブザーバー)	夜間想定
3	平成25年 1月7日（月）	8:45～	児童21名・職員11名	
4	平成25年3月31日（日）	8:50～	児童18名・職員9名	

(2)火災想定避難訓練（夜間想定訓練1回）※非常通報装置を使用し消防署への通報訓練も行う

	実施日	開始時間	参加人員	備考
1	平成24年 5月29日（火）	9:00～	児童15名・職員11名	
2	平成24年 7月29日（日）	14:05～	児童12名・職員4名	
3	平成24年12月30日（日）	9:40～	児童19名・職員6名	
4	平成25年2月12日（火）	9:40～	児童24名・職員2名+6名(オブザーバー)	夜間想定

(3)総合防災訓練（訓練回数3回）

	実施日	実施時間	内容・参加人員等	備考
1	平成24年 8月30日（木）	9:00～ 10:25	児童18名・職員18名 避難訓練・消火訓練等	※消防署への非常 通報訓練も実施
2	平成24年11月1日（木）	9:30～ 10:30	児童20名・職員13名 避難訓練・消火訓練等	
3	平成24年12月2日（日）	8:30～ 9:45	地区防災訓練に職員2名を派遣。 避難訓練・消火訓練等	※富士地区 総合防災訓練

(4)通報訓練 ※緊急連絡網等を使用した通報訓練（実施回数1回）

	実施日	実施時間	参加人員・訓練内容等	備考
1	平成24年10月29日（月）	21:40～ 21:55	職員26名を対象とした通報訓練	
2	平成25年3月25日（月）	9:03～	災害安否コールシステムを使用した通報 ・安否確認訓練（全職員）	※法人全職 員対象

(5)防災用備品の点検・整備等（実施回数1回）

	実施日	実施時間	内容	備考
1	平成24年 9月 5日（水）	9:00～ 11:30	防災倉庫内備品の点検・確認・移動	※消火訓練 実施

資料6 平成24年度 研修会、会議等参加実績

外部研修会参加人数 53名(開催34回)：法人内研修会等参加人数 46名(6回)

(1) 全国乳児福祉協議会・関東ブロック乳児院協議会等の研修会

①研修会 参加人数 11名(6回)

年 月 日	研 修 会 名	場 所	参加人数
平成24年 6月7～8日	第47回関東ブロック乳児院研究協議会	東京都：中野クラブ	3名
7月6～8日	第56回全国乳児院研修会	鹿児島県：城山観光ホテル	1名
7月7～8日	第58回関東甲信越静里親研究協議会	埼玉県： 浦和ロイヤルインズホテル	1名
10月6～7日	第58回全国里親大会山形大会	山形県：天童ホテル	1名
10月11～12日	第62回全国乳児院協議会	兵庫県：舞子ビラ神戸	1名
11月17～18日	関東ブロック乳児院協議会職員研修会	群馬県：トピタ高崎	3名
11月23日	こどもの虐待死を悼み命を讃える市民集会	千代田区：日比谷公会堂	1名

(2) 静岡県乳児院協議会・東京都社会福祉協議会乳児部会研修会等

①会議研修会等 参加人数19名(11回)

年 月 日	研 修 会 名	場 所	参加人数
平成24年 4月18日	静岡県乳児院協議会 家庭支援研修会	静岡恵明学園	1名
4月29日	テラ・プレイ遊戯療法公開講座	ウィル愛知	1名
5月16日	静岡県乳児院協議会 栄養調理研修会	浜松乳児院	2名
7月18日	東京都社協乳児部会養育研修会	飯田橋セントラルクラブ	1名
9月8日	静岡県乳児院協議会 養育研修会	みどり園	7名
11月10日	児童虐待防止静岡のつどい	静岡総合福祉会館	2名
11月21日	静岡県乳児院協議会 看護研修会	静岡乳児院	1名
11月21日	東京都社協乳児部会養育研修会	飯田橋セントラルクラブ	1名
平成25年 1月16日	静岡県乳児院協議会 事務研修会	浜松乳児院	1名
2月15日	静岡県乳児院協議会 代表者会議	静岡乳児院	1名
2月20日	東京都社協乳児部会養育研修会	飯田橋セントラルクラブ	1名

(3) 静岡県児童福祉施設指導員・保母の会研修等の県内研修会

①会議研修等 参加人数 20名 (15回)

年 月 日	研 修 会 テーマ等	場 所	参加人数
平成24年 4月24日	県指保の会現任研修会「子どもと職員」	岩倉学園	1名
5月22日	県指保の会現任研修会「施設ケア」	春風寮	1名
6月6～7日	平成24年度指導的職員研修 I (3)	静岡県総合福祉会館	1名
6月9日	静岡県里親連合会総会・研修会	静岡県総合福祉会館	1名
6月12日	平成24年度県指保の会新任職員研修会	静岡県総合福祉会館	1名
8月2～3日	平成24年度指導的職員研修 I (2)	静岡県総合福祉会館	2名
8月3日・8日	県社協経理事務応用講座	静岡労政会館・シズウェル	1名
8月30日	平成24年度第1回児童養護施設等事務職員研修会	静岡県総合福祉会館	1名
9月19日・26日	社会福祉法人新会計基準経理研修会	グランシップ	1名
10月3日	県指保の会「社会的養護における種別間の連携」	みどり園	5名
11月13日	県指保の会 子どもの遊びを認識する	静岡恵明学園児童部	1名
11月13日	社会福祉施設等における感染症予防対策講座	富士市:フィランセ	1名
平成25年 2月7日	県指保の会 子どもの養育と取組	和光寮	1名
2月16日	里親と児童福祉施設職員の養育研修会	静岡恵明学園児童部	1名
3月12日	県指保の会 代表者会議	三島社会福祉会館	1名

②資格取得・養成講座等 参加人員 3名 (資格取得者 3名)

年 月 日	研 修 会 テーマ等	場 所	参加人数
平成24年 8/28～10/4	ふじくのくに防災士養成講座(全9回)	静岡県立大学	2名
平成24年 9/15～9/17	応急手当普及員養成講習会	富士市消防庁舎	1名

(5) 法人内研修会・園独自研修会等

①研修会参加人数 46名 (6回)

年 月 日	研 修 会 名	場 所	参加人数
平成24年 4月13日	法人 新規採用職員研修会	みぎわ園	3名
5月9日	みどり園 118救急救命講習会	みどり園	10名
10月22日	法人 普通救急救命研修会	みぎわ園	4名
11月7日	法人 普通救急救命研修会	みぎわ園	2名
11月20日	法人 普通救急救命研修会	みぎわ園	5名
12月10日	みどり園「電解水の効用と活用について」	みぎわ園	22名



指導員保母の会 H24. 10. 3

みどり園 園内研修会 H24. 12. 10



大野木晶子先生による静岡県乳児院協議会との合同研修会 座学と実技 H24. 9. 8

資料 7 平成24年度 実習生受け入れ状況

(1) 単位取得実習 (6校 18名 延べ206日)

学 校 名	人 員	指定日数	実 習 期 間	延日数
和泉短期大学	2名	12日	6月19日～6月30日	24日
富士常葉大学	1名	13日	5月21日～6月2日	13日
〃	2名	13日	8月1日～8月15日	30日
〃	2名	13日	8月20日～9月1日・21日	28日
鎌倉女子大学	2名	12日	9月3日～9月14日	24日
常葉短期大学	2名	12日	10月1日～10月12日	24日
静岡福祉医療専門学校	2名	12日	11月1日～11月10日	24日
合 計	13名			167日

(2) その他の実習及び育児指導

1. 家庭引き取り対応指導 年間延べ 383件 (面会・外出・外泊対応等)
2. 里親委託養育指導等 年間延べ 105件
3. 里親研修 年間延べ 12件 (3件×4講座)
4. 富士宮東高校教員体験実習1回 1名

資料 8 ボランティア受け入れ実績

(1) ボランティア受け入れ実績	総数	116名 (4団体+個人2名)
1. 虐待予防センター	4回	9名
2. 吉原第二中学校ボランティア	毎週日曜日	年間延べ 73名
3. 吉原高校ボランティア	3回	6名
4. 岳陽中学校ボランティア	1回	2名
5. その他のボランティア	13回	26名

資料 9 施設運営改善等

(1) 苦情・要望受付

- ・処遇に関する苦情 1 件

緊急一時保護でお預かりした5カ月のお子さんのオムツかぶれを悪化させてしまったことで、保護者から職員の業務に対する姿勢や、個別の対応について職員に徹底できていないのではないかというご指摘を受けました。

保護者宅に謝罪に伺い、関係する職員への指導を行うと共に、職員会議時に子どもへの対応についての確認を行い、ユニット会議時に関わり方や、対応についての見直しを検討する機会を設け、職員間での統一を図りました。

(2) 人事考課実施

人事考課を実施し、結果について職員への個別面接を実施し、平成25年度の職員の給与へ反映させました。

特別養護老人ホーム みぎわ園

事業概要報告

H24年度は介護保険法改正の年で改正後2%の改定率は、如何に稼働実績を上げて反映させるかでありました。新たにショートステイ事業に導入された緊急時受入れ体制加算は、各居宅支援事業所のケアマネ等からは、大いに歓迎されました。通所サービス系については提供時間の変更等で、利用数の伸びに欠け、収入減に至った反省は次年度への検討課題として努力を要する

所であります。開設1年の吉原西部地域包括支援センターについては、担当地域に多くの問題を抱えている実態が垣間見え、老人福祉の総合相談を背景として更に信用と信頼の評価が得られるように、地域貢献に努力する所であります。特養ユニット内では介護充実に向けた個別処遇へのアプローチが図られ、看取り介護についても看護介護の連携の下、ご家族と共に9名の方々の尊厳を持ったターミナルケアを完結しました。ご遺族からの感謝の言葉に励まされ、私達に勇気と達成感を与えて頂き、意を強くした看護と介護の実績でありました。平成25年度に向けた新会計基準への移行準備に伴って従来の各事業所口座勘定の一本化は、資金の流れの有効性と、将来展望を視野に入れた資金運用管理が可能になりました。

大規模災害防災上の整備は、実効性ある準備を計画しつつの一年であり、全体として今年度は、経営も安定しつつ介護技術、職員の連帯感等の向上を受け、地域老人福祉への新たな支援を進めるとして、開設10年を迎えるみぎわ園の布石となった一年でありました。

重要事項報告－1

新会計基準への移行と指導指針に向けた会計方式への管理他

昨年10月を目途に各事業会計の口座の一本化を図り、介護保険施設事業所として、みぎわ園での一体化した資金管理が順調に進められ、資金運用及び管理業務の有効性が図られました。又利用者預り金についても、電算処理管理が8月より実質稼働し、安全かつ公正な預り金業務管理が完了し、長年の行政指導での指摘、懸案事項を整備しました。

人材育成と研修制度企画運営について

年間の各事業所研修実施計画を管理会議で検証しこれに基づき進められ、特に認知症実践者研修、衛生管理者国家資格取得研修、各部署内での防火管理者養成等で次世代を担う人材と施設管理上の育成、内部的には、オムツ使用に関わる個別ケア研修、身体拘縮利用者リハビリ勉強会等、介護スキルアップ研修が図られています。



夜の時之栖イルミネーション見学

重要事項報告－2

1. 防災対策と防災備品整備及びピロティ空間整備

施設全体での防災方針、大規模災害での非常物品想定等が資金運用と併せて多種にわたり現在検討中であり、H25年度に懸案を持ち越しています。

2. ショートステイ居室改修（写真1）、送迎車両整備（写真2）、 チルド式車椅子整備（写真3）について

設備検案実施事項については、整備及び配備をしました。現在有効的に業務が図られ、利用者の送迎の利便性とケア上の身体管理が高められています。



写真 1



写真 3

写真 2



実施報告

部門：特養介護部門

1. 職員のやる気と能力アップに、QOL 委員会の見直しと新たな部会設置を行い委員会の充実を図る。

- 1) ケア向上部会、特に褥瘡に焦点をあて QOL 委員会内での講習会を実施し予防対策に努め、更に個別ケア・ターミナルケア・排泄ケアに重点を置いた、質の高いケアの提供に努めています。
- 2) リスクマネジメント部会、事故報告書の事例に考察などを取り入れ、原因究明及び予防対策に努め事故の減少（骨折 0 件）に繋げることができました。
- 3) レク部会については、三人行事を中心であったため、より日常レクに努める反省をしつつ、H25 年度は組織変更し日常レクを充実させるとしました。

2. リスクマネジメント関係書類の見直しと職員一人ひとりの問題意識と事故防止と再発防止をするシステムの構築を図る。

- 1) 事故事例に職員の考察を導入する事により、事故リスクに対する職員の意識づけをすることができました。また、「生活のしおり」を作成し、ご家族に説明責任を行い事故に対する理解を求めることができました。

3. ターミナルケアの介護と看護の見直し、家族と共に寄り添いその人らしい人生の終焉を迎えられる介護を構築する。

ターミナル期のケアにおいては、個々の職員が死生感・不安感を抱えながらも「死」を肯定的に受け止め、入居者と関わりご家族との対話を行い細やか支援ができています。



クリスマス会のーコマ



舞踊ボランティアの方々



みどり園からの軽車輛の委譲

部門：看護部門

感染対策伝達講習会の定期研修実施と予防接種を施行し今年度は、入居者にインフルエンザ(1名)の罹患がありましたが、標準予防策を周知徹底することによって蔓延することなく防疫体制の効果が図られ、またターミナルケアについては、入居者の現在そして今後起こり得る状態を、随時説明することで家族との信頼関係を築き、家族・介護スタッフと共に終焉を迎える事が出来ました。

部門：その他ユニット部門

- 1) 多くの実習生をうけ、実体験介護実習を方針に職員が協力し、「とても勉強になった」という実習生からの声があり、少しずつスキルアップを図る事が出来たが、検討を必要とする所もあり改善を図りながら今後の実習生受入を行っていく予定です。
- 2) オムツ講習や身体拘縮予防講習、その他の伝達講習や研修に参加し職員の介護スキルを高める事が出来、感染時の対策を徹底し、安全衛生管理に努力した結果、感染防止に努めることができました。



合同寿司バイキングの様子



敬老会：家族からのメッセージ



クリスマス会のーコマ

- 3) 買い物や外食も決まったメンバーになってしまう等、「この入居者は外食は無理」と決め付けてしまっていた所もあり、可能なことに目を向け、計画していく事の大切さと個別処遇の大事さに気づき持った1年でした。

部門：ショートスティみぎわ園

ご利用者の入所時及び食事やおやつ前における手指消毒の徹底を図りましたが、2月のインフルエンザ（利用者4件・職員5人）の流行は、利用者、ご家族にご迷惑をかけてしまい、同流行の戸惑いの中、看護との連携により乗り越えることができ、大きな流患は避けられました。

部門：デイサービスセンターみぎわ園

平成24年度の取り組みの一つとして「食の充実」を行い、月に一度のバイキングメニュー、職員による手作りのおやつ提供、不定期での外出など自宅では出来ないことを行うことにより「食べることの楽しみ」を感じていただきました。



市内福祉店見学



秋の田貫湖散策



毘沙門さん初詣



サガミ外食での一コマ



昼食バイキング風景



クッキングパーティー

部門：ふようデイサービスセンター

24年度の改正により1時間当りの単価が下がり、個々のニーズに対応できるよう特にサービス提供時間の変更を行わなかったが、結果として前年度と比較して利用者数の低迷がみられ、反省として、25年度に向けた反省と営業努力として稼働率の巻き返しを図る予定です。



室内運動会



毘沙門さんへの初詣



福祉展見学会



忘年会の様子



納涼祭ショット



敬老会の様子

部門：ふよう居宅支援事業所

平成 24 年 5 月より、5.5 人体制での活動の下で、地域及び利用者からの相談全てに耳を傾け、真剣に親身になって対応説明する姿勢を取り、責任ある業務内容を目指して行動し、自らの言動に厳しく認識を持ち、利用者にしつかり向かい合う介護支援活動を行いました。

部門：富士市吉原西部地域包括支援センター

事業計画で挙げていた居宅介護支援事業所・サービス提供事業所をはじめ、医療機関、地域の民生委員協議会、福祉推進委員会等の関係機関との信頼関係の強化に努め、虐待ケースや成年後見人制度活用ケース等の困難ケースの多くが相談される結果となり、介護予防教室やサロン活動を通して、より地域に近い存在を PR 出来ました。

※キャラバンメイト養成講座の様子※



資料：吉原西部包括支援センター介護予防給付実績状況

平成 2 4 年度 介護予防給付ケース表		包 括
直 営	要支援 1	8 1 件
	要支援 2	3 6 3 件
	小 計	4 4 4 件
委 託	要支援 1	3 3 9 件
	要支援 2	1, 0 3 7 件
	小 計	1, 3 7 6 件
合 計		1, 8 2 0 件

資料：施設利用者の状況（H25.3月内）

	平均年齢(歳)		平均介護度	
	男	女	男	女
特養	80.8	86.7	3.65	3.83
	85.3		3.79	
ショート	81.8	86.9	2.91	2.77
	85.7		2.8	
デイE	82.2	80.8	3.4	3.4
	81.3		3.4	
デイB	84.9	86.5	1.75	1.79
	86		1.78	
居宅	81.9	84.2	1.94	1.83
	83.6		1.86	

資料：特養年間入退所者数

単位／人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延数
入居者	3		1	1	1	3	2	1	1	1	1	6	21
退所者	2	1		1	1	3	2	1	1	1	2	5	20

資料：家族面会者数実績報告

単位／人

4月	507	5月	491	6月	480	7月	522
8月	681	9月	601	10月	563	11月	530
12月	572	1月	613	2月	668	3月	634

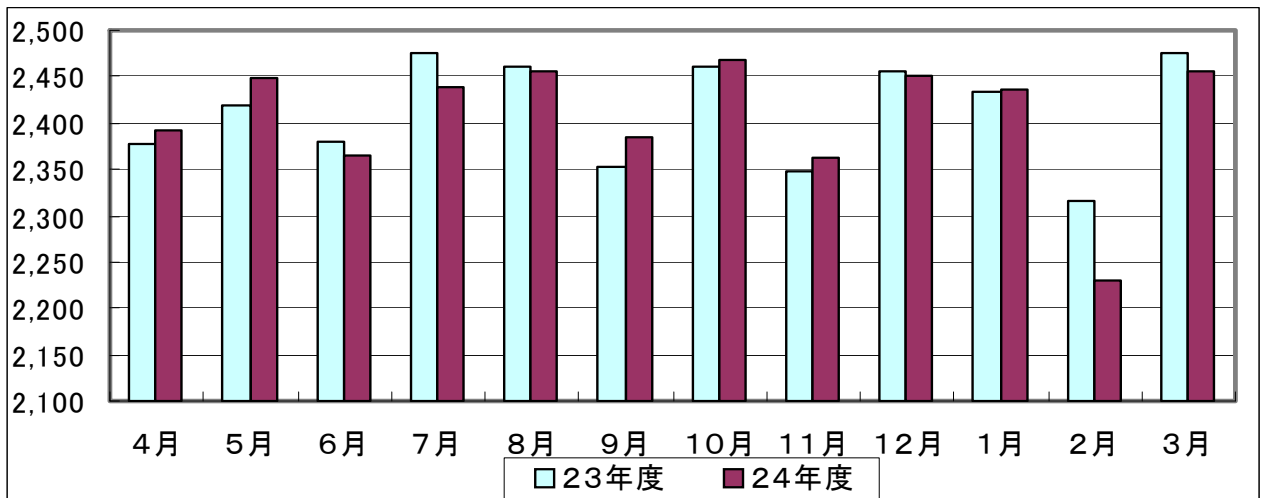
面会者年間延数 6,862人（平均約 20人／1日）

資料：平成 24 年度 各事業稼働高集計表

平成 24 年度 特別養護老人ホームみぎわ園

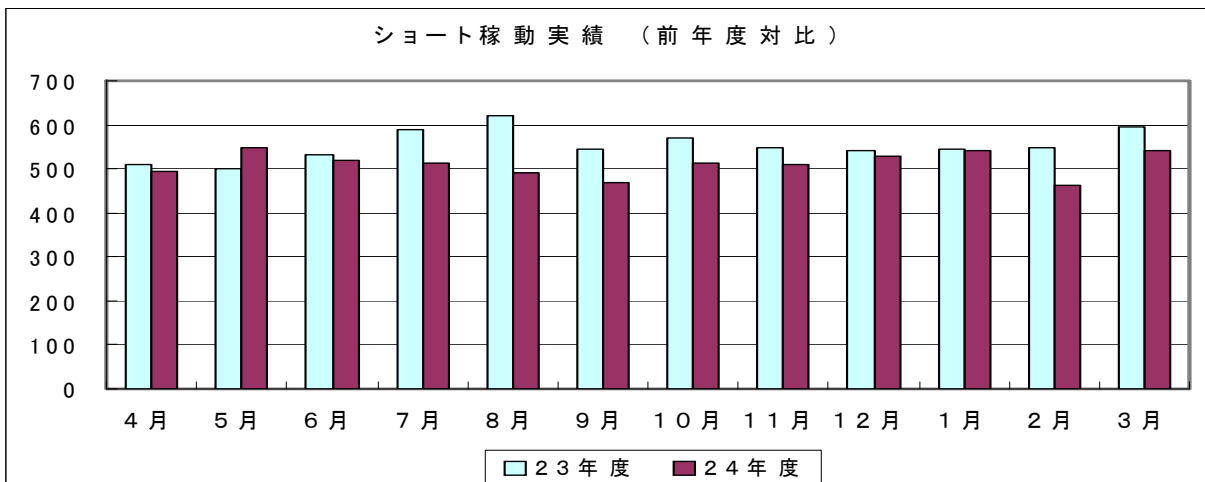
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
23年度	2,377	2,418	2,379	2,476	2,460	2,353	2,461	2,348	2,456	2,434	2,315	2,475	28,952
24年度	2,393	2,449	2,364	2,439	2,457	2,385	2,467	2,362	2,452	2,436	2,230	2,456	28,890
24-23	16	31	-15	-37	-3	32	6	14	-4	2	-85	-19	-62
稼働率	99.7%	98.8%	98.5%	98.3%	99.1%	99.4%	99.5%	98.4%	98.9%	98.2%	99.6%	99.0%	98.7%

(平成24年2月は閏年29日)



平成 24 年度 ショートステイみぎわ園

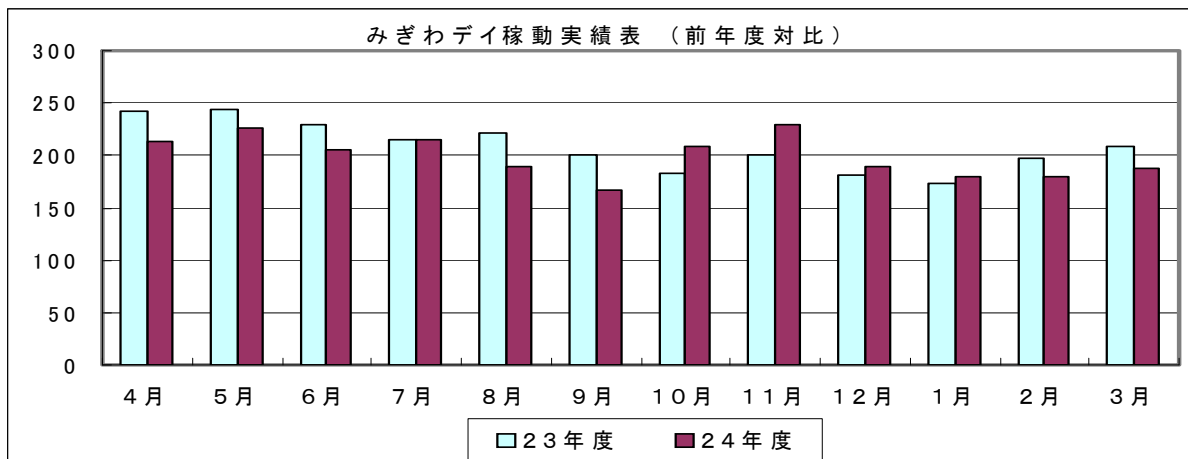
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
23年度	510	501	532	589	620	546	569	547	541	546	547	595	6,643
24年度	495	548	521	514	490	470	512	509	528	542	464	541	6,134
24-23	-15	47	-11	-75	-130	-76	-57	-38	-13	-4	-83	-54	-509
稼働率	83%	88%	87%	83%	79%	78%	83%	85%	85%	87%	83%	87%	83.8%



平成 24 年度 デイサービスセンターみぎわ園

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
23年度	243	244	230	215	221	201	183	201	182	174	198	209	2,501
24年度	214	227	206	215	190	167	208	229	189	180	180	187	2,392
24-23	-29	-17	-24	0	-31	-34	25	28	7	6	-18	-22	-109
稼働率	83%	88%	80%	83%	73%	64%	80%	88%	73%	69%	69%	72%	76.9%

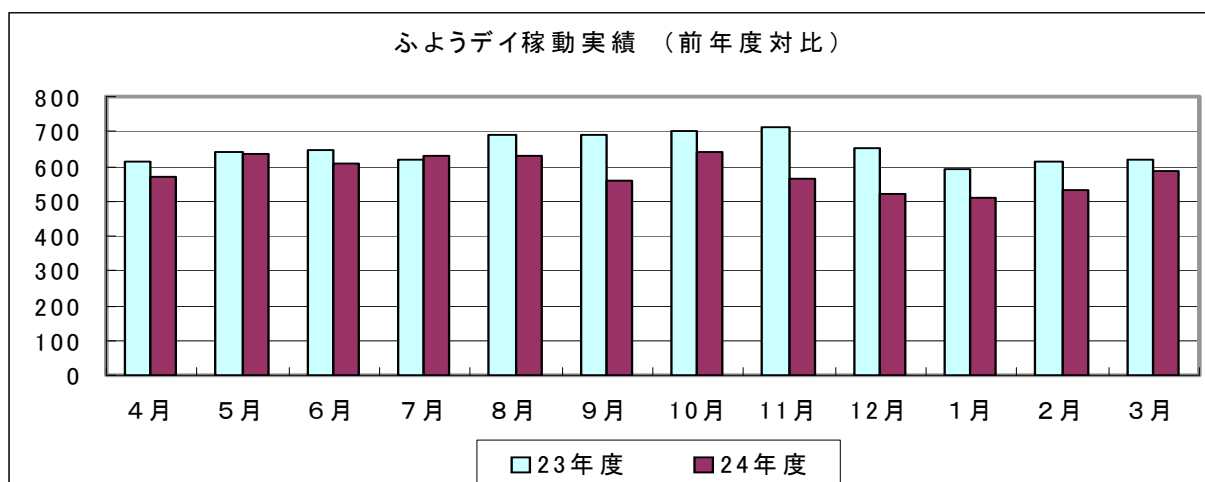
稼働率は1ヶ月の営業日を21.6日として計算。



平成 24 年度 ふようデイサービスセンター

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
23年度	614	640	649	621	691	691	701	713	654	590	612	621	7,797
24年度	569	635	610	632	630	558	641	567	522	512	533	585	6,994
24-23	-45	-5	-39	11	-61	-133	-60	-146	-132	-78	-79	-36	-803
稼働率	75%	84%	81%	84%	83%	74%	85%	75%	69%	68%	71%	77%	77.1%

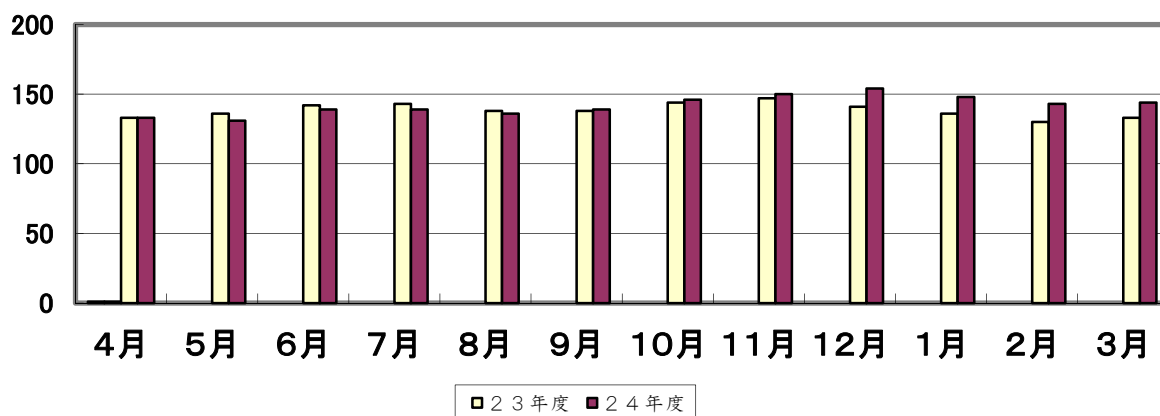
稼働率は1ヶ月の営業日を21.6日として計算。



平成 24 年度 ふよう居宅支援事業所稼働実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
プラン件数	130	132	139	139	136	137	146	150	154	147	143	144	1697
(介護)	120	121	128	126	123	122	126	129	133	130	129	127	1514
(予防)	10	11	11	13	13	15	20	21	21	17	14	17	183
新規件数	3	3	5	3	2	5	12	6	4	1	5	3	52
終了件数	3	4	2	1	3	4	3	1	5	5	7	2	40
(死亡)				1						2	2		5
(入院/入所)	1	4	2		3	4	3		3	3	4	2	29
(その他)	2							1	2		1		6

ふよう居宅稼働実績（前年度対比）



デイサービスバイキング昼食会



改修保安当直室



ショートステイでのお茶会



地域活動：支援サポーターステップアップ事業
富山型デイサービス見学・伊那市（かいご家）

資料：H24 年度リスクマネジメント集計(インシデント・アクシデント報告)

場所別件数

場所	件数
居室	59
パブリック	53
ステーション	4
食堂	14
トイレ	6
浴室	5
屋外	8
医務室	0
その他	5

154

事故別件数

内容	件数
転倒	54
転落	36
誤嚥	11
異食・誤飲	3
皮膚剥離	11
誤薬	4
配薬ミス	16
無断外出	9
利用者トラブル	0
その他	10

154

骨折事故 (0)

月別件数

月	件数
4月	15
5月	19
6月	21
7月	14
8月	10
9月	6
10月	13
11月	15
12月	8
1月	14
2月	12
3月	7

154

曜日別件数

曜日	件数
月	23
火	21
水	18
木	32
金	18
土	19
日	23

154

介護度別件数

介護度	件数
要介護 1	10
要介護 2	29
要介護 3	64
要介護 4	31
要介護 5	19
要支援 1	0
要支援 2	0
不明	1

154

男女別件数

男/女 件数	
男性	54
女性	99
不明	1

154

部署別件数

部署	件数
1 F 南	24
1 F 北	27
2 F	43
3 F	16
SS	43
デイ	0
医務	1

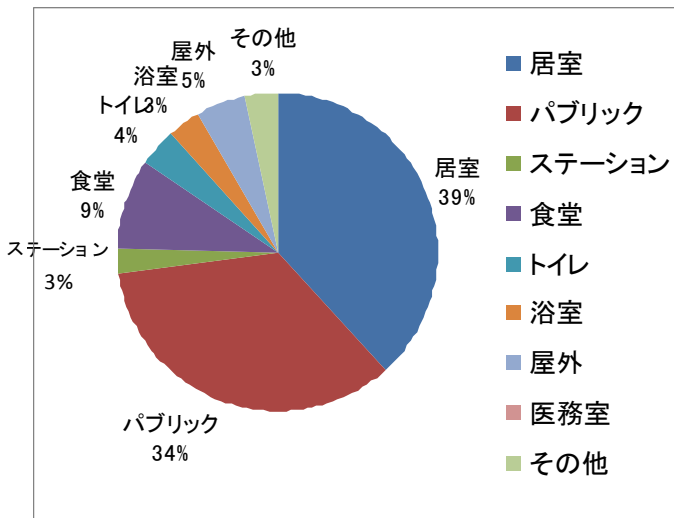
154

リスク種別件数

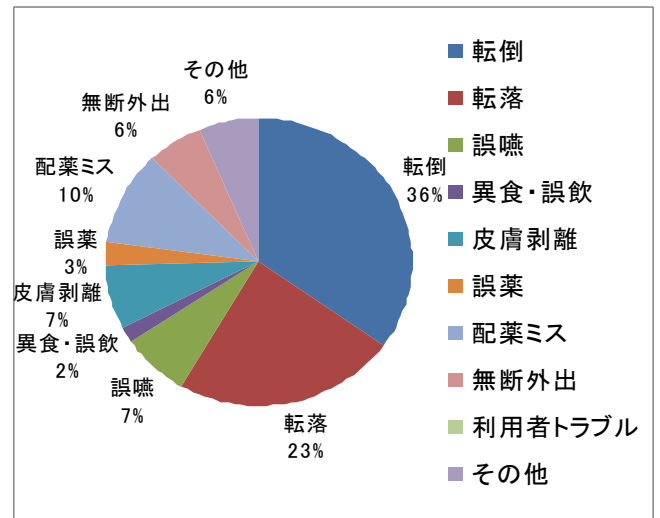
種別	件数
ヒヤリハット	17
事故	137
苦情	0

154

グラフ：場所別件数



グラフ：事故別件数



資料：実習生受入れ状況

学校名	人員	実習期間	延日数
県立 富士宮東高等学校	3名	5月9日～5月25日	12日
	3名	7月17日～7月31日	10日
	2名	10月2日～10月19日	11日
静岡福祉医療 専門学校	3名	6月25日～7月28日	25日
	1名	7月30日～8月14日	12日
	2名	9月5日～9月12日	5日
	1名	10月29日～11月23日	20日
	1名	10月23日～10月25日	1日
Fujiアカデミー	1名	5月10日～6月7日	19日
	1名	6月20日～6月22日	3日
	1名	7月5日～7月9日	3日
	1名	7月23日～7月25日	3日
	1名	10月15日～10月17日	3日
	1名	10月23日～10月25日	3日
	1名	12月4日～12月11日	3日
	1名	12月10日～12月11日	2日
	1名	H25年1月16日～1月18日	3日
	1名	2月5日～2月7日	3日
	1名	2月5日～2月14日	3日
	1名	3月20日～3月22日	3日
合計	28名		147日



拘縮利用者へのリハビリ研修



時之栖へ夜のレクリエーション